

**令和6年度  
教育に関する事務の管理及び執行の  
状況の点検及び評価に関する報告書**

(令和5年度事業)

令和6年10月

向日市教育委員会

# 目 次

I	はじめに	1
II	教育委員会の活動状況	2
III	事業評価シート（令和5年度事業）	9
	(事務事業番号)	
1	豊かな学びの創造と確かな学力の育成	10
2	豊かな人間性の育成と多様性の尊重	16
3	健やかな身体の育成	22
4	学びを支える安心・安全な教育環境の充実	26
5	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の 教育力の向上	31
6	生涯学習環境の充実	34
7	家庭・地域社会の教育力の向上	46
8	安心して産み育てる体制づくり	50
9	スポーツ活動の推進	53
10	多様性を認め合う社会の実現	55
11	歴史・文化資源の整備と活用	57
IV	外部評価委員の総評	64

# I はじめに

## 1 趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないとされております。

また、点検及び評価を行うに当たり、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとしてされております。

このため、本市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに市民の皆様への説明責任を果たすため、事務事業の実績について取りまとめ、成果や課題について検証しました。

また、学識経験者である市教育委員会外部評価委員の方のご協力を得て、様々な意見・助言等をいただきましたので、その結果を報告します。

## 2 点検・評価の対象及び方法

教育基本法第17条第2項に基づく、本市における「教育の振興のための施策に関する基本的な計画」と位置づけている「第2次ふるさと向日市創生計画」で定める重点施策や取組事業を踏まえ、主要な11施策43事業を外部評価対象事業とし、委員の方から施策ごとに様々な意見・助言等をいただきました。

### (1) 点検・評価委員

氏名	役職等
前坂 あや子	元高知県教育委員会事務局就職アドバイザー
松宮 功	元大阪国際大学短期大学部教授

### (2) 点検・評価会議開催状況

第1回点検・評価会議（令和6年7月18日開催）

第2回点検・評価会議（令和6年7月19日開催）

第3回点検・評価会議（令和6年8月22日開催）

## II 教育委員会の活動状況（令和5年度）

### 1 教育委員会構成員

役 職	氏 名	就 任 日	任 期 満 了 日
教育長	山本 真也	令和5年7月1日	令和6年6月30日
教育長職務 代理者	松本 克彦	平成20年10月1日	令和6年9月30日
委 員	流石 智子	平成27年10月1日	令和9年9月30日
委 員	中野 緑	平成30年10月1日	令和8年9月30日
委 員	畠山 亮	令和3年12月10日	令和7年12月9日

#### （1）教育長の異動

令和5年6月30日付けで永野教育長が辞任され、7月1日付けで山本教育長が任命された。

#### （2）委員の異動

令和5年9月30日で流石委員が任期満了となり、10月1日付けで再任された。

2 教育委員会の開催状況 16回

回	開催日	時 間	付議案件等
令和5年 第6回	4月24日(月)	午後1時30分～ 2時30分	<p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・臨時代理について（社会教育委員の委嘱について）</li> <li>・令和5年度小中学校の主な新規事業等について</li> <li>・令和5年度向日市教育相談体制について</li> <li>・小学校給食費の公会計化について</li> <li>・学校版「ミモザカード」の活用について</li> <li>・小中学校における内科健康診断について</li> <li>・小学校における児童の医療的ケアの実施について</li> </ul>
第7回	5月16日(火)	午前9時00分～ 10時40分	<p>【議案第11号】 向日市立学校の教職員の勤務時間等に関する規則の一部を改正する規則について</p> <p>【議案第12号】 向日市議会令和5年第2回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和4年度向日市一般会計補正予算について</li> <li>・令和5年度向日市一般会計補正予算について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・教育委員会における新型コロナウイルス感染症対応について（令和4年4月～令和5年5月）</li> <li>・年間入館者数について（図書館・天文館・文化資料館・文化財調査事務所）</li> <li>・令和5年度向日市放課後児童クラブ入会児童数について</li> <li>・学校訪問について</li> <li>・令和4年度不登校の状況について</li> <li>・令和4年度いじめ調査の概要について</li> </ul>
第8回	6月5日(月)	午前10時00分～ 10時45分	<p>【議案第13号】 人事に関することについて</p> <p>【議案第14号】 向日市教育委員会教育長の辞職の同意について</p>

回	開催日	時 間	付議案件等
第 9 回	7月6日(木)	午後2時00分～ 3時45分	<p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市議会令和5年第2回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について</li> <li>・令和5年度 コミュニティ・スクールの導入状況について</li> <li>・向日市立小中学校の修学旅行等宿泊を伴う学校行事の実施状況について</li> <li>・令和5年度向日市立小中学校指定事業について</li> <li>・令和5年度全国学力・学習状況調査のオンライン実施について</li> <li>・京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～について</li> <li>・令和5年度 留守家庭児童会夏季入会児童数について</li> <li>・令和5年度 物集女車塚古墳石室一般公開について</li> </ul>
第 10 回	8月17日(木)	午後1時30分～ 3時00分	<p><b>【議案第15号】</b> 令和6年度に使用する小学校教科用図書の採択について</p> <p><b>【議案第16号】</b> 令和6年度に使用する学校教育法附則第9条に規定される教科用図書の採択について</p> <p><b>【議案第17号】</b> 向日市議会令和5年第3回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向日市文化財調査事務所条例の廃止について</li> <li>・令和5年度向日市一般会計補正予算について</li> <li>・令和4年度向日市一般会計決算について</li> </ul> <p><b>【報告事項】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回向日市部活動地域移行懇談会について</li> <li>・令和5年度中学校総合体育大会の結果について</li> </ul>
第 11 回	9月21日(木)	午前10時00分～ 10時30分	<p><b>【議案第18号】</b> 人事に関することについて</p>

回	開催日	時 間	付議案件等
第 12 回	9月26日(火)	午前9時00分～ 11時00分	<p>【議案第19号】 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について</p> <p>【議案第20号】 向日市文化財調査事務所管理運営規則を廃止する規則について</p> <p>【議案第21号】 教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規程の制定について</p> <p>【議案第22号】 向日市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について</p> <p>【議案第23号】 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>向日市議会令和5年第3回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について</li> <li>第20回向日市中学生英語スピーチ大会について</li> <li>令和5年度第1回いじめ調査の概要について</li> </ul>
第 13 回	10月23日(月)	午前10時00分～ 10時30分	<p>【議案第24号】 いじめ防止対策推進委員会委員の委嘱について</p> <p>【議案第25号】 向日市教育委員会分限懲戒審査会に関する規程を定める訓令の制定について</p> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度向日市立小中学校における体育大会の実施状況について</li> <li>中学校給食に関するアンケートについて</li> <li>寺戸大塚古墳竹林小屋竣工記念式について</li> </ul>
第 14 回	11月14日(火)	午前10時00分～ 10時35分	<p>【議案第26号】 向日市議会令和5年第4回定例会の議決を経るべき案件に対する意見について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>令和5年度向日市一般会計補正予算について</li> </ul> <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新体力テストについて</li> <li>令和5年度英語スピーチ大会結果について</li> <li>向日市立寺戸中学校における体育館天井部材の剥離・落下について</li> </ul>

回	開催日	時 間	付議案件等
第 15 回	11月22日(水)	午前9時00分～ 9時30分	【議案第 27 号】 人事に関するることについて
第 16 回	12月26日(火)	午前10時00分～ 11時20分	【報告事項】 ・向日市議会令和5年第4回定例会一般質問答弁 要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・令和6年向日市はたちの集いについて ・令和6年度通学区域の弾力化制度実施結果につ いて ・令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂 について ・令和5年度乙訓小学生駅伝大会について ・第22回小中学生読書感想文コンクールにつ いて ・第12回子ども読書本のしおりコンテストにつ いて ・令和5年度人権擁護啓発ポスターコンクールに ついて
令和6年 第1回	1月30日(火)	午前10時30分～ 11時20分	【報告事項】 ・令和6年向日市はたちの集いについて ・令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂 について
第 2 回	2月13日(火)	午後2時30分～ 3時40分	【議案第 1 号】 向日市議会令和6年第1回定例会の議決を経る べき案件に対する意見について ・令和5年度向日市一般会計補正予算について ・令和6年度向日市一般会計予算について 【報告事項】 ・令和6年度向日市の教育（指導の重点）の改訂 について ・令和5年度第2回いじめ調査の概要について
第 3 回	2月27日(火)	午前10時00分～ 10時30分	【議案第 2 号】 人事に関するることについて

回	開催日	時 間	付議案件等
第 4 回	3月22日(金)	午前11時30分～ 12時00分	【議案第3号】 人事に関する事について
第 5 回	3月25日(月)	午前10時00分～ 11時30分	【議案第4号】 向日市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について 【議案第5号】 向日市教育委員会事務決裁規程及び向日市教育委員会分限懲戒審査会に関する規程の一部を改正する訓令について 【議案第6号】 令和6年度向日市の教育について 【議案第7号】 向日市スポーツ推進委員の委嘱について 【報告事項】 ・向日市議会令和6年第1回定例会一般質問答弁要旨及び総務文教常任委員会質疑について ・中学校給食に関するアンケートについて ・寺戸公民館改築に関するアンケートについて

### 3 教育委員会委員の主な活動（教育長のみが出席したものを除く）

#### （1）教育委員会関係行事への参加

- 小中学校入学式・卒業式
- 小中学校訪問
- 小中学校体育大会
- 小中学校公開授業、研究発表会
- 中学生英語スピーチ大会
- 向日市はたちの集い（成人式）
- 洛南高等学校附属小学校入学式、卒業式
- 京都府立向陽高等学校入学式、卒業式
- 京都西山高等学校卒業式 ほか

#### （2）研修・協議会等

- 乙訓教育委員会連合会教育委員研修会
- 乙訓教育委員会連合会定期総会
- 京都府市町村教育委員会連合会定期総会・研修会
- 京都府内市町（組合）教育委員会研修会
- 近畿市町村教育委員会研修大会（オンライン）
- 乙訓地区小中学校使用教科用図書採択協議会

### Ⅲ 事業評価シート（令和5年度事業）

施策番号	1
施策名	豊かな学びの創造と確かな学力の育成

施策の基本方向  
 ○児童生徒が学ぶことの意義や楽しさを感じられる多様な学びの実現に努めるとともに、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善を行い、確かな学力をはぐくむ教育を推進する。

事業名	研究指定
事業概要 実績	<p>○各学校は、京都府教育委員会や京都府乙訓教育局、本市教育委員会の研究指定を受け、児童生徒の実情に応じて実践的に授業改善や学習環境の整備等を行い、学力向上に取り組んだ。</p> <p>○文部科学省指定          「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」          ・向陽小学校・第3向陽小学校・第6向陽小学校（英語）          ・第2向陽小学校・第4向陽小学校・第5向陽小学校（算数・英語）          ・勝山中学校（数学・英語）、西ノ岡中学校・寺戸中学校（理科・英語）          （児童生徒へのデジタル教科書の配布）</p> <p>○京都府教育委員会指定「不登校児童生徒支援システム構築事業」（1／3）※          ※指定期間3年中1年目を示す。以下同じ。          ・勝山中学校ブロック（勝山中学校・向陽小学校・第5向陽小学校）</p> <p>○京都府教育委員会指定「未来の担い手育成プログラム研究校」・京都府乙訓教育局指定「学力充実指定校」・向日市教育委員会指定（2／3）          ・西ノ岡中学校          「生涯にわたり学び続ける生徒の育成」～他者と協働して課題解決に挑む～          （企業等から出題される「正解のない問い」を解決しようとする、課題解決型学習の取組）  <p style="text-align: right;">公開授業 1月31日</p> <p>○京都府教育委員会指定「絆の作り手育成プログラム研究校」・向日市教育委員会指定（3／3）          ・第5向陽小学校          「自己有用感をはぐくむ教育活動の推進」～チャレンジ！あきらめない！          みとめあう！みんな大好きスマイル5向～          （地域「文化財」を教材としたカリキュラムづくりと自己有用感の高揚を図ることを大切にしたい取組）  <p style="text-align: right;">公開授業 11月16日</p> </p></p>

<p>○京都府乙訓教育局指定「学力充実指定校」・向日市教育委員会指定（1／1）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第3向陽小学校 「自ら考え、仲間と共に、学び続ける力の育成」～聴き合い、伝え合う集団の中で～ <span style="float: right;">公開授業 1月25日</span></li> </ul> <p>○向日市教育委員会指定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・向陽小学校 「『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業づくり」 ～Grow the Cast 未来の主役を育てる～ <span style="float: right;">公開授業 2月9日</span></li> <li>・第2向陽小学校 「子どもたちの問いを大切にしたい算数授業の確立」 ～より深い学びの追求～ <span style="float: right;">公開授業 随時授業公開</span></li> <li>・第4向陽小学校 「心をつなぐ 学びをつなげる」 ～みんなで分かる・できる・考える授業づくり～ <span style="float: right;">公開授業 11月16日</span></li> <li>・第6向陽小学校 「人とのつながりを通して主体的に学ぼうとする児童の育成」 <span style="float: right;">公開授業 2月8日</span></li> <li>・勝山中学校 「新学習指導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」がある授業 <span style="float: right;">公開授業 1月26日</span></li> <li>・寺戸中学校 「仲間とつながり、目標に向けて支えながら取り組める生徒集団の育成」 <span style="float: right;">公開授業 9月7日</span></li> </ul> <p>○「GIGAスクール構想」に基づき、整備された児童生徒1人1台タブレット端末の利活用促進に向けて、GIGAスクールプロジェクトチーム（PT）会議を開催し、タブレット端末を使った効果的な実践について交流・協議を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回（5月15日） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 導入アプリケーション活用研修会の実施について</li> <li>② 効果的な活用事例の収集について</li> </ul> </li> </ul>
---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回（8月28日） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教員のICT活用指導力の把握について</li> <li>② 児童生徒の情報活用能力の把握について</li> </ul> </li> <li>・第3回（11月20日） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 教員のICT活用指導力アンケート結果について</li> <li>② 児童生徒の情報活用能力アンケート結果について</li> </ul> </li> <li>・第4回（2月20日） <ul style="list-style-type: none"> <li>① 京都府教育委員会開催のICTリーダー研修の報告</li> <li>② タブレット利活用調査結果の報告</li> </ul> </li> </ul> <p>○各学校では、夏季休業中に全教職員を対象に導入したアプリケーションの活用研修会を実施し、個別学習や協働学習における効果的な活用方法について研修を行った。</p> <p>○教員及び児童生徒（小4、小6、中3）を対象にアンケート調査を実施し、教員のICT活用指導力及び児童生徒の情報活用能力について、各学校の状況等を把握し、より効果的な研修の在り方や体系的な情報活用能力の育成に向けた指導の在り方などについて協議を行った。</p> <p>○全教員と児童生徒（小4、中2）を対象にタブレット利活用調査を実施し、各学校の利活用状況等を把握するとともに、活用に向けた効果的な取組や実践事例等について情報交流を行った。</p>
担当課	学校教育課

事業名	学力テストの実施
事業概要 実績	<p>○各種学力テストを実施し、各学校は児童生徒の学習の定着状況を把握するとともに結果を分析し授業改善につなげた。</p> <p>（京都府）京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～ 小学4年生～中学3年生</p> <p>（文科省）全国学力・学習状況調査 小学6年生、中学3年生</p>
担当課	学校教育課

事業名	子ども未来づくり支援事業（体験活動）
事業概要 実績	<p>○児童生徒の体験活動</p> <p>各学校においては、それぞれの学校の実態や地域の特色を踏まえ、伝統や文化についての児童生徒の体験的な学習や、知的好奇心を育む学習などを実施した。</p> <p>（目的別体験活動件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学力向上（習字、プログラミング、震災学習など）</li> </ul> <p style="text-align: right;">9件（小学校 8件、中学校1件）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体験活動（着衣泳、剪画、農業など） 10件（小学校10件、中学校0件）</li> <li>・伝統文化（琴、しめ縄、能楽鑑賞など） 11件（小学校 9件、中学校2件）</li> <li>・健康安全（防煙、いのちの学習など） 5件（小学校 2件、中学校3件）</li> <li>・キャリア（社会で働く人から学ぶ） 4件（小学校 1件、中学校3件）</li> </ul>
担当課	学校教育課

事業名	ふるさと学習
事業概要 実績	<p>○各学校では、新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、教育課程での位置づけを再確認し、校外での体験活動や地域の方々との交流を実施した。</p> <p>○全小学校では生活科や社会科と関連させ、総合的な学習の時間に実施した。</p> <p>1年生・2年生：「向日市にふれる」町探検(校区の公園や図書館等の見学)を通した学習</p> <p>3年生・4年生：「向日市を知る」特産物（なす、たけのこ等）や校区内の特色（お寺・踊り・用水路等）についての学習、簡単な歴史についての学習</p> <p>5年生・6年生：「向日市を学ぶ」歴史・文化や農作物等についての学習</p> <p>※特徴的な取組</p> <p>5向小 6年生 京都府教育委員会 「絆の作り手育成プログラム研究指定校」 (令和3～5年度)</p> <p>学習：文化財を生かした向日市の魅力発信（向日市文化資料館見学、京都市内でのPR活動、幼児や地域住民を対象とした向日市の魅力再発見イベントの開催など）</p> <p>○中学校では総合的な学習の時間において実施した。</p> <p>勝山中 1年生：向日市の史跡や特産品について調べ学習を行い、発表会交流会を行った。</p> <p>西ノ岡中 2年生：「向日市民の生活をより良くしよう！」をテーマに統計資料などを基に、向日市への提案書を作成した。</p> <p>寺戸中 2年生：「第7回向日市ふるさとWEB検定」に向けて向日市の歴史や地理等について学習を行い、過去問題を解く等知識を獲得した。</p> <p>全中学校：「第7回向日市ふるさとWEB検定」受検（勝山1年生、西ノ岡2年生、寺戸2年生）</p> <p>○ふるさと学習成果展</p> <p>児童生徒が地域ならではの特色に関心を高め、ふるさとへの愛着を育むとともに、授業で取り組んだ学習成果（新聞、プレゼンテーション資料・動画等）を校外に展示し、本市の特色ある教育活動を広く市民に知ってもらい、本市への関心</p>

	<p>を高める機会とした。</p> <p>日 時 令和5年12月23日から令和6年1月14日まで</p> <p>場 所 向日市文化資料館 ラウンジ</p> <p>参加校 向陽小学校、第5向陽小学校、西ノ岡中学校</p>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○各学校では、「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善に向け、児童生徒の実態に応じた研究テーマを設定し、効果的な指導方法や指導体制を工夫するなど研究を進めた。</p> <p>○全教職員を対象にした導入アプリケーションの活用研修会を実施し、個別学習や協働学習における効果的な活用方法の研修を重ね、授業の中で、効果的にICTを活用する実践力を高めた。また、教員のICT活用指導力、児童生徒の情報活用能力、タブレット利活用状況等のアンケート調査を実施し、それぞれの実態を把握し、今後の研修や指導の在り方に関する協議や、効果的な実践事例等の情報交流を深めた。</p> <p>○全国学力・学習状況調査や京都府学力・学習状況調査～学びのパスポート～を実施し、それらの結果を踏まえ教員は把握した学力課題等について各校内研修において共有し、授業改善につなげた。</p> <p>○各学校は、新型コロナウイルス感染症5類移行に伴い、児童生徒の体験活動について、教育課程の計画を見直し、その上で実施することができた。</p> <p>○ふるさと学習については、感染状況を注視しながらではあったが、地域の「郷土」「人」「もの」のつながりを大切にしたい取組を進めることができた。</p> <p>○5向小では京都府教育委員会から3年間の指定を受け、向日市の文化財を題材として課題解決型学習に取り組み、ふるさと向日市への関心を一層高めることができた。</p> <p>○ふるさと学習成果展では、今年度も児童が制作したプレゼンテーション資料・動画をスクリーンに繰り返し再生した。市民からは「児童が向日市のことを真剣に考えていることが伝わってきました。」などの声を聴くことができ、児童生徒のふるさと学習の成果について広く周知することができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○タブレットや導入アプリケーションの利活用については、教員間や学校間において差があるため、さまざまなアンケート結果や利活用状況等を踏まえて、GIGAスクールプロジェクトチーム会議を一層活性化させ、全ての指導者においてICTを活用した授業改善が図れ</p>	

るよう努めたい。

○各学力テストの結果は各教科とも概ね国や京都府平均であったが、学びのパスポートにおいては、中学2年生の国語と数学が不十分であった。小中学校の授業の質の向上を図るため、まずは各校教務主任、学力向上に係る教職員対象の会議を実施し、学習指導要領の趣旨理解とともに具体的な授業改善の視点を共通理解することを通して、授業力の向上を図る必要がある。その上で、授業参観を中心とした研修を実施する。

○ふるさと学習のさらなる充実を図るため、向日市の特色や魅力について、まずは教職員対象の研修会を継続的に実施し、地域や向日市の特色について知る必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○非常にバラエティに富んだ研究指定とテーマになっている。それぞれの学校の希望や特徴がよく出ている。意欲的な内容をうまく取り上げて上手な指定が行われている。今後も積極的に学校以外の人に公開授業への参加をしてもらいたい。様々な意見を聴いて、新たな次の段階へ進めていただきたい。

○コロナ禍では体験活動を行うことができなかった。しかし、体験活動は学齢期に必要なことである。学習環境はコロナ前に戻りつつある。学校からの意欲的な様々な取組を、上手に後押しするような支援をしていただきたい。

○新型コロナウイルス感染症が5類に移行した。ふるさと学習は、改めてスタートになり大切な時期である。今後も適切な指導をしていただきたい。

○最終年度となった「絆の作り手育成プログラム研究校」指定では、児童が朝堂院公園で向日市の魅力を伝えるプレゼンテーションを行ったり、ガイド役になって史跡や寺院を案内するなど更に充実したものとなっている。地域の人々からも好評であり、十分な成果が出せたことは評価できる。

○ふるさと学習成果展において、その具体的成果を、保護者だけでなく広く市民に届けていることは大切である。様々な意見を聴くことは、さらに素晴らしい試みである。このような取組を通して、子どもをみんなで育てていこうという雰囲気向日市全体に育つ。このような取組の積み重ねが、子育てしやすい市となり好循環に繋がっていく。今後も継続していただきたい。

策番号	2
施策名	豊かな人間性の育成と多様性の尊重

<p>施策の基本方向</p> <p>○一人一人の尊厳と人権が尊重され、個性の違いや多様性を認め合い、主体的に行動し、自らの能力を最大限に発揮することができる教育を推進する。</p> <p>○多様な考えや価値観に触れることを通じて、人を思いやり尊重する心を育てるとともに、自らの考えや思いを伝えながら感性や情緒、創造力や表現力をはぐくむ。</p> <p>○すべての児童生徒が安心して通うことができ、楽しく過ごすことができる学校づくりに取り組む。</p>
---

事業名	「特別の教科 道徳」実践交流
事業概要 実績	<p>○参加者は公開された授業を参観し、事後研究会において授業改善の視点を明確にした協議を行った。</p> <p>・授業公開 勝山中学校（2年6組）</p> <p>主題名 真の友情(内容項目 B-(8)友情・信頼)</p> <p>教材名 「ライバル」</p> <p style="text-align: right;">参加者数 16人</p>
担当課	学校教育課

事業名	人権教育
事業概要 実績	<p>○あらゆる人権問題に対し、豊かな人権感覚を持ち、幸せな社会生活を営めるよう、人権意識の高揚につながる取組を行った。加えて、新型コロナウイルス感染者への差別や偏見防止に向け指導を行った。</p> <p>◆人権教育の授業時数（各教科、特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間）</p> <p>小学校18. 1時間（小1～小6における各学年の年間授業時間の平均）</p> <p>中学校18. 6時間（中1～中3における各学年の年間授業時間の平均）</p> <p>◆教職員研修</p> <p>①向日市教職員研修会（集合形式で実施）</p> <p>日 時：令和5年8月18日（金）</p> <p>講 師：崇仁発信実行委員会 代表 藤尾 まさよ 氏</p> <p style="text-align: center;">「差別の歴史と現状から見る同和問題」</p> <p style="text-align: right;">参加者数 74人</p> <p>②各学校の校内研修会</p> <p>同和問題（部落差別）、障がい者理解教育、LGBTQ理解教育、子どもの貧困とヤングケアラー、SNSやインターネットによる犯罪など、人権問題等をテーマとして実施</p>

	◆人権教育に関する参観授業 全小中学校で実施
担当課	学校教育課

事業名	特別支援教育の充実
事業概要 実績	<p>○向日市教育支援委員会において、小中学校に在籍又は就学予定の幼児、児童生徒について、障がいや特性等に配慮した適切な就学について協議し、相談及び指導を行った。</p> <p>相談件数 128件（就学前60件、小学校49件、中学校19件）</p> <p>○各校の状況に応じ、特別支援教育支援員を配置し、教育上特別の支援を必要とする児童生徒に対する支援を行った。</p> <p>全小中学校に配置 小学校25人、中学校3人</p> <p>○特別支援教育就学奨励費を支給し、特別支援学級に就学する児童生徒の保護者の経済的負担軽減を図った。</p> <p>給付内訳（給付対象人数：小学校99人、中学校26人）  学用品等購入費（小学校95人、中学校24人）  給食費（小学校90人、中学校23人）  校外活動費（宿泊あり・宿泊なし）（小学校16人・93人、中学校0人・24人）  修学旅行費（小学校9人、中学校7人）  体育実技用具、柔道（中学校1人）  新入学児童生徒学用品費等（小学校15人、中学校8人）</p>
担当課	学校教育課

事業名	職場体験活動
事業概要 実績	○望ましい職業観や勤労観等を身につけさせるため、中学2年生を対象に介護や農作業等の体験活動や地域社会における職場体験を実施しているが、令和5年度も新型コロナウイルス感染症の影響により中止した。
担当課	学校教育課

事業名	安心・安全教育
事業概要 実績	<p>○「向日市いじめ防止基本方針」に基づき、各小中学校においては「いじめ防止基本方針」を策定するとともに、校務分掌にいじめ防止委員会を位置付け、日常的にいじめの早期発見と早期対応に努めた。</p> <p>○年2回のいじめ調査（アンケートと個別に聞き取り）を実施（1回目：7月、</p>

2回目：11月)した。  
 ※各調査後、3か月後を目安に追跡調査を実施した。

いじめ調査の認知・解消件数（延べ件数）				
年度	令和4年度		令和5年度	
項目	認知	解消	認知	解消
小学校	1,092	977	1,141	1,084
中学校	133	111	185	141
合計	1,225	1,088	1,326	1,225

○8月と2月に向日市いじめ防止対策推進委員会（臨床心理士や弁護士、小児科医等が委員）を開催し、いじめ調査結果を基にいじめの防止等に向けた方策について協議した。

○不登校数《年間30日以上欠席》（ ）内は令和4年度

- ・小学校 2.12%（1.78%）
- ・中学校 6.34%（5.82%）

○交通安全教室

- 小学校 「交通安全教室」 向陽小1・2年生、2向小1・2・3年生  
 「自転車運転免許教室」 2向小4年生、5向小4年生
- 中学校 「交通安全教室（自転車）」 勝山中1年生、西ノ岡中1年生  
 寺戸中1年生

担当課 学校教育課

事業名	教育相談等
事業概要実績	<p>○教育支援センター「ひまわり広場」の充実          市内の不登校の児童生徒を対象に、主体性や社会性をはぐくみ、学校への復帰や社会的自立に向けた支援を行う「ひまわり広場」の活動を充実させた。          202日開設（週5日間 午前9時30分から正午まで）          指導員11人（月・火2人体制、水・木・金3人体制）          登録児童生徒23人（小学校11人、中学校12人）          通室児童生徒数 平均6.76人/日</p> <p>○教育相談事業の実施          来所による相談、電話による相談、学校への巡回教育相談を実施した。とりわけ来所相談はニーズが高く、1人の臨床心理士が週2回、児童生徒やその保護者等の教育相談に応じた。          （各相談件数）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・来所教育相談件数（市役所）延べ337件</li> <li>・電話教育相談件数 延べ69件</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校への巡回教育相談（全小中学校） 延べ763件</li> </ul> <p>○心の相談サポーター事業</p> <p>不登校の未然防止や早期解決を図るため、登校できるが教室には入りにくい不登校傾向の児童生徒を対象に、学習支援や教育相談等を行い、児童生徒の悩みや不安、ストレス等の解消を図り、心にゆとりを持てるような環境を提供した。</p> <p>臨床心理学を学ぶ大学院生 13人</p> <p>配置校 小学校6校、中学校2校（各校週1日～4日）</p> <p>対応件数 延べ1,162件</p>
担当課	学校教育課

事業名	校種間連携の充実
事業概要 実績	<p>○新型コロナウイルス感染症の5類移行後、児童生徒間の交流及び教職員対象の研修は徐々に再開されてきた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・児童生徒 <ul style="list-style-type: none"> <li>部活動体験 勝山中学校ブロック 西ノ岡中学校ブロック</li> <li>中学校の体育大会見学 勝山中学校ブロック</li> </ul> </li> <li>・教職員 <ul style="list-style-type: none"> <li>合同研修会（学力分析、生徒指導など）</li> <li>合同授業研究会（公開授業の参観、事後研究など）</li> <li>※参加人数</li> <li>勝山ブロック（向陽小：107人 5向小：103人 勝山中：60人）</li> <li>西ノ岡ブロック（2向小：82人 6向小：45人 西ノ岡中学校：59人）</li> <li>寺戸ブロック（3向小：36人 4向小：52人 寺戸中学校：59人）</li> </ul> </li> </ul> <p>○小学校教員と保育所（園）職員及び幼稚園教員との懇談、小学校児童と保育所（園）幼児との交流行事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児児童の交流行事 <ul style="list-style-type: none"> <li>学校への招待と交流、学年行事への招待、勉強体験の資料や動画による学校紹介等</li> </ul> </li> <li>・教職員（全小学校） <ul style="list-style-type: none"> <li>保幼小交流会 担当者による参観と懇談</li> <li>合同研修会（京都府乙訓教育局主催事業）</li> <li>幼児教育、保育の一日体験（初任者研修、10年目研修対象）</li> </ul> </li> </ul>
担当課	学校教育課

## 施策の成果と課題

### 【成果】

○小中学校道徳実践交流会では、中学校教員による特別の教科道徳の授業を各学校の教員が参観し、新学習指導要領で示される「考え、議論する道徳」を踏まえた授業改善についての協議を通して授業改善の視点を明確にすることができた。

○「ひまわり広場」の指導員の確保に向けて臨床心理士を養成する大学と交渉を重ね、人材を確保することができた。また、複数の指導員を引き続き確保することで、通所する児童生徒に対して個に応じた丁寧な相談支援を実施することができた。

○心の相談サポーター事業では、各サポーターが別室へ登校する児童生徒への個別の対応や、教室に入りにくい児童生徒の教室入室時における状況について教員と共有するなど、対象児童生徒の支援に貢献した。

○幼児児童生徒一人一人に応じた継続した教育的支援の充実を目指して、療育等の関係機関と協力して進めてきた「移行支援シート」の活用について、小学校での活用が定着し、中学校への活用も進められた。

### 【課題】

○中学校の職場体験活動の再開に向け、体験活動の在り方を検討するとともに、体験活動前後の学習について特別の教科道徳等で計画的に進めるなど、指導内容を充実させ、児童生徒に望ましい職業観や勤労観を育成する必要がある。

○向日市いじめ防止対策推進委員会において、委員から令和4年度と比較して、令和5年度は認知件数がやや増加しているとの指摘があった。本市においては学年が上がるにつれ認知件数が減少する傾向も見られるところである。認知数の多さについては、学校が児童や生徒の思いを丁寧に把握し、普段からいじめを積極的に認知し、早期対応を図っている結果であるが、それだけ多くの児童生徒が嫌な思いをしている結果でもある。日常から教員が児童生徒の些細な変化を見落とすことなく、一層教員と児童生徒との信頼関係を構築し、いじめの初期段階で丁寧に寄り添うなどの対応が必要である。

○各学校においては、不登校に係る児童生徒一人一人のアセスメントに基づいた支援を進めるため、専門家や関係機関との連携を図りながら組織的に対応していく必要がある。

○すべての児童生徒の教育機会を確保するため、登校という形にこだわらず、本市教育支援センター「ひまわり広場」の活用やフリースクール等との連携を図り、児童生徒の社会的自立に向けた支援を充実する必要がある。

外部評価委員評価及び意見等

○人権問題は、様々な切口がある。判断や対策について多くの経験から導き出せるものも多い。全体の指導や研修会などを行って一人一人の教員の感覚を高めていっていただきたい。

○年2回のいじめ調査を実施して、いじめを積極的に認知し面談を行うなど早期対応を図っていることについては評価できる。

○ひまわり広場では、指導員の確保が難しい中で1名増員をしており、通所する児童生徒に丁寧な相談支援を実施したことは評価できる。

施策番号	3
施策名	健やかな身体の育成

施策の基本方向

○生涯を通じて体育・スポーツ活動に親しむ能力と体力の向上を図る。

○知育・徳育・体育の基礎となる食育の推進とともに、現代的な健康課題への理解を深める等、健やかな身体の育成を図る。

事業名	新体力テストの実施								
事業概要 実績	○各学校では、感染症対策を講じ新体力テストを実施した。 <結果> 令和5年度実施「新体力テスト」(平均値)								
	・小学5年(男子) ※8種目中、5種目において全国平均を上回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	15.26	19.74	32.88	38.05	50.92	9.21	155.24	22.90
	全 国	16.13	19.00	33.99	40.61	46.91	9.48	151.16	20.51
	京都府	15.82	19.52	31.35	40.28	51.98	9.28	153.39	21.95
	・小学5年(女子) ※8種目中、6種目について全国平均を下回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	14.92	18.05	35.44	36.01	35.84	9.59	141.01	13.09
	全 国	16.02	18.05	38.47	38.74	36.81	9.71	144.34	13.22
	京都府	15.74	18.70	35.63	39.19	42.27	9.43	147.06	14.72
	・中学2年(男子) ※8種目中、4種目において全国平均を上回る。								
		握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)
	向日市	26.34	25.68	44.39	50.93	79.08	7.78	199.57	19.85
	全 国	28.98	25.71	44.04	51.19	77.76	8.01	196.97	20.32
	京都府	29.80	26.07	42.58	51.90	82.40	7.85	198.01	20.01
・中学2年(女子) ※8種目中、5種目において全国平均を上回る。									
	握力 (kg)	上体起こ し(回)	長座体前屈 (cm)	反復横跳 び(点)	20mシャ トルラン(回)	50m走 (秒)	立ち幅跳 び(cm)	ボール 投げ(m)	
向日市	22.06	21.71	44.99	45.68	53.62	8.50	163.73	12.37	
全 国	23.12	21.53	46.26	45.65	50.46	8.95	166.21	12.36	
京都府	23.79	22.58	45.24	47.18	56.69	8.68	171.79	13.17	
担当課	学校教育課								

事業名	健康に関する授業
事業概要 実績	○薬物乱用防止教室について、すべての小中学校で薬物乱用防止教室を実施した。 向陽小6年生（6月）、2向小6年生（7月）、3向小6年生（7月）、4向小6年生（8月）、5向小6年生（7月）、6向小6年生（1月）、勝山中2・3年生（6月）、西ノ岡中全学年（7月）、寺戸中3年生（7月）
担当課	学校教育課

事業名	食育・学校給食運営
事業概要 実績	<p>○小学校では、食に関する体験活動（農作物栽培）をし、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・農作物例 1・2年生（さつまいも、チンゲン菜、オクラ、ミニトマト等）</li> <li>3・4年生（なす、オクラ、ゴーヤ、ひょうたん、大根、ヘチマ）</li> <li>5・6年生（じゃがいも、米、インゲン豆）</li> <li>特別支援学級（玉ねぎ、大根、トマト、インゲン豆、きゅうり等）</li> <li>・給食等の活用例（玉ねぎ、さつまいも、米、大根、ピーマン、きゅうり）</li> </ul> <p>○小学校給食実施児童数 3,007人（令和5年5月1日現在） 米飯給食週4回実施。 食器消毒保管庫、包丁殺菌庫、冷凍冷蔵庫、ガス回転釜等、給食備品の更新により、給食室衛生管理の徹底を図った。 給食室害虫駆除、栄養教諭等保菌検査、食材検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○中学校給食実施生徒数 1,385人（令和5年5月1日現在） 米飯給食週5回実施。</p> <p>○栄養士等給食関係者従事者の保菌検査、専門家による研修等を実施し、衛生管理の徹底を図った。</p> <p>○食物アレルギーを有する児童生徒へ医学的根拠に基づいた適切な対応ができた。</p> <p>食物アレルギー</p> <p>小学校 260人（有症率8.6%） （そのうち、除去食対応については、92人）</p> <p>中学校 157人（有症率11.2%） （そのうち、除去食対応については、35人）</p> <p>○中学校給食献立コンクール</p>

	<p>献立コンクールを通じて、栄養のバランスや、地元野菜など給食への興味関心を持たせ、給食を通じて食育の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・全中学校応募者合計数：731人</li> <li>・入賞献立 教育長賞 1名 優秀賞 4名</li> </ul> <p>(入賞献立は、1月23日～30日の学校給食週間で実際に献立実施)</p>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○すべての小中学校において薬物乱用防止教室及び非行防止教室等を開催することができた。薬物乱用防止教室の実施については、年間指導計画に位置付け、薬物に対する正しい知識の習得と非行防止に向けた取組を実施することができた。</p> <p>○小学校では、日々の給食指導や給食週間の取組、給食委員会の活動等を通して、食に対する正しい知識や食事のマナーの向上が図れた。</p> <p>○すべての小中学校において、生活科や理科、委員会活動、生活単元活動をとおして、農作物を栽培している。そのうち、小学校では収穫したものを給食等で活用し、栽培活動と食育と関連させた学習を進めることができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○新体力テストの結果、多くの種目で全国平均を下回っていることを踏まえ、児童生徒の体力向上に向けて、体育や保健体育の授業中にサーキットトレーニングや筋力トレーニング等を行うだけでなく、休み時間の外遊び、部活動等を通じて様々な運動を経験させ、一層の体力の向上を図る必要がある。</p> <p>○中学校において、給食を活用した食育を通じて、望ましい生活習慣を身に付けるよう指導を行っていく必要がある。</p>	

## 外部評価委員評価及び意見等

○体力テストは、全国平均と向日市平均を比較することだけが分析ではない。向日市全体との比較だけでは、向日市に合った良い対策のアイデアは生まれにくい。焦点をあてたタイプの児童生徒、例えば、極端に下回っていた児童が極端に減った、など、様々に類型化されたグループの変化に注目してみる。その特徴を把握する分析が必要である。

○体力テストは、最終的に、健やかな身体の成長を図ることが目的である。栄養バランスの取れる給食事業の実施を含め、食、生活習慣など、トータルな視点で施策を組み合わせることが大切である。

○児童が栽培し収穫した農作物を給食で活用する。中学生を対象としたコンクールで入賞した献立を実際の給食に取り入れる。これらを通じて食育の推進を図ったことは評価できる。

○除去食対応は、アレルギーのある児童生徒が給食を食べることができるようになるとともに保護者の負担も軽減される。今後も継続して食育に力を入れていただきたい。

施策番号	4
施策名	学びを支える安心・安全な教育環境の充実

<p>施策の基本方向</p> <p>○自然災害や事故などの多様な危機から子どもを守り、いかなる事態においても子どもたちの学びを止めない危機管理体制を整備する。</p> <p>○すべての子どもが将来に希望をもって成長していけるように、学びと生活の支援が充実した居場所としての学校づくりに取り組む。</p> <p>○強い使命感と高い専門性を持つ教員の育成を図り、児童生徒が明るくいきいきと学ぶ魅力ある学校づくりを目指す。</p> <p>○子どもの豊かな成長を支える教職員の資質能力の向上を図る。</p>
---

事業名	子ども未来づくり支援事業（教職員研修）
事業概要 実績	<p>○①教育委員会主催教職員研修会においては、令和5年度は、全教職員を対象に年1回（学校の夏季休業中）の開催を行った。</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人権教育 「差別の歴史と現状から見る同和問題」 崇仁発信実行委員会 代表 藤尾 まさよ 氏 参加者数 74人</li> <li>・学力向上 「学習指導要領を踏まえた学習指導の考え方や実践」 お茶の水女子大学附属中学校 教諭 藤原 大樹 氏 参加者数 69人</li> <li>・生徒指導 「新生徒指導提要在示すこれからのいじめ対応の方向性」 関西外国語大学 教授 新井 肇 氏 参加者数 74人</li> </ul> <p>②各学校の主な教職員研修 各校の教育課題に応じた研修講師を招き、研修会を実施 小学校11件、中学校6件（年間通じて複数回実施を含む延べ件数）</p> <p><b>【内容】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習指導（主体的・対話的で深い学び、社会科教育、学力向上等）</li> <li>・特別支援教育（児童の特性理解と具体的な指導・支援）</li> <li>・人権問題（LGBTQ、同和問題）</li> <li>・その他（ネットいじめと子どもたちの実態、強みを生かした学級経営等）</li> </ul> <p>③先進校視察研修 小学校9件、中学校2件</p> <p><b>【視察先】</b></p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西学院初等部、筑波大学附属小学校、大阪教育大学附属池田小学校、お茶の水女子大学附属中学校、横浜国立大学教育学部附属横浜中学校、亀岡市立亀岡小学校、富山市立堀川小学校、尾花沢市立常盤小学校 等</li> </ul>
担当課	学校教育課

事業名	登下校時安全対策
事業概要 実績	<p>①通学路安全推進会議の開催（2回） 向日市子どもの移動経路／通学路等の交通安全プログラムに基づき、通学の安全対策について協議を行った。 構成団体：京都府乙訓土木事務所・京都府向日町警察署 向日市（まちづくり推進課・学校教育課・道路整備課・子育て支援課）</p> <p>②交通指導員の配置 小学校の通学路における交差点や踏切等、登校時34箇所、下校時14箇所の危険箇所に交通指導員を配置し、通学路の安全確保を図った。 また、老朽化した交通安全啓発用反射電柱幕の交換や新たな設置を行い、通学路の交通安全について啓発を行った。</p> <p>③防犯ブザーの配布 小中学校の新1年生全員に防犯ブザーを配布した。 (小学生560個、中学生495個)</p>
担当課	学校教育課

事業名	学校施設の整備
事業概要 実績	<p>○子どもたちが安全な教育環境のもとで学校生活を送れるよう、学校施設の計画的な修繕及び適切な維持管理を行うため、令和3年度に実施した外壁劣化調査を基に、老朽化が進む校舎について外壁改修工事、屋上防水改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・外壁改修内容： 外壁・庇のひび割れ、浮き等の補修及び塗装等改修工事</li> <li>・外壁改修箇所： 向陽小学校中校舎、第3向陽小学校全校舎、 第5向陽小学校北校舎東、 西ノ岡中学校南校舎・体育館</li> <li>・屋上防水改修工事箇所： 第4向陽小学校中校舎、第5向陽小学校全校舎、 西ノ岡中学校南校舎</li> </ul> <p>○バリアフリー改修工事の実施 誰もが支障なく学校生活を送れるようバリアフリー改修工事を実施した。</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スロープ設置箇所： 寺戸中学校正門</li> <li>・バリアフリートイレ設置箇所： 第3向陽小学校南校舎 寺戸中学校北校舎</li> </ul> <p>○トイレ改修工事の実施 子どもたちが、快適で衛生的な環境で学校生活を送れるよう、和式から洋式へトイレの改修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・トイレ改修内容： 床面乾式化、洋式大便器、自動洗浄機能付小便器、自動水洗式手洗い器、人感センサー式LED照明機器</li> <li>・トイレ改修箇所： 向陽小学校南校舎、体育館 第4向陽小学校中校舎、南校舎 第6向陽小学校北校舎、南校舎、体育館 寺戸中学校北校舎</li> </ul> <p>○LED改修工事の実施 学校環境の向上及び環境負荷の軽減、光熱費の節減を図るため、照明のLED改修工事を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・LED改修箇所： 向陽小学校、第4向陽小学校、第6向陽小学校、寺戸中学校</li> </ul>
担当課	公共建物整備課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果（学校教育課）】</b></p> <p>○教育委員会主催教職員研修会を実施するに当たり、令和5年度は、教職員のキャリアに応じて3つの講座を開催した。講座の参加対象を明確にすることにより、キャリアに応じた学びと実践に生かせる研修内容につながった。</p> <p>○研修講師を招き、校内研修会を実施した学校では、学習指導や評価、特別支援教育等、学校の状況に応じて様々な研修テーマを設定し、思考力・表現力を育てる授業づくりの手法や評価の考え方、障がいのある児童生徒への対応等、教職員の資質・能力の向上を図ることができた。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類移行後、視察を受け入れる学校も増え、先進校視察を実施する学校が増えた。また、学校の代表の数人が研究授業の参観や研究会の参加するのではなく、教職員全員で先進校視察に参加し、日常の取組から研究実践の成果を学ぶなど、先進校視察の方法を工夫して取り組んでいる学校があった。</p> <p>○通学路安全推進会議及び緊急合同点検において、学校から要望のあった通学路の危険箇所</p>	

の情報を各関係機関と連携し、安全対策について点検、対策案を検討し、対策が必要な箇所について、各関係機関において、車止めの設置や電柱幕の設置など安全確保に向けた取組を進めた。

通行に際し注意が必要な箇所に交通指導員を配置し、児童が安心して通学できるよう通学路の安全対策を図った。

「学童多し注意」「危険 歩行者に注意」の電柱幕を設置することにより児童生徒だけでなく、通行する車両に対しても交通安全に対する啓発を行った。

さらに、新1年生に防犯ブザーを配布し、不審者から身を守るための防犯・安全意識の啓発を行うとともに、いざという時に正しく使用できるよう指導を行った。また、学校だより等を通じ、防犯ブザーの定期的な電池交換と常時携行について周知を行った。

#### 【成果（公共建物整備課）】

○児童生徒の安全確保及び学校施設の維持管理のために、老朽化が進行している校舎について、計画的に老朽化対策改修工事を進めることができた。

○障がいの有無に関わらず、誰もが支障なく学校生活を送ることができる環境を整備するため、バリアフリートイレを設置し、バリアフリー化を一層進めることができた。

○校舎内等のトイレを洋式大便器や自動洗浄機能付小便器、乾式床等に改修することにより児童生徒が快適に学校生活を送れるよう、教育環境の改善を図った。

○校舎内の照明をLEDに改修することにより、学校環境の向上や環境負荷の軽減に寄与することができた。

#### 【課題（学校教育課）】

○道路や周辺の状況変化等により通学路の危険箇所は常に変化するため、通学路安全推進会議の構成団体や学校・地域と連携して、定期的に要望や意見を取り入れつつ、交通指導員の配置時間や配置場所について、最適な見直しを行う必要がある。

#### 【課題（公共建物整備課）】

○児童生徒の安全確保及び学校施設の維持管理のために、老朽化が進行している校舎について、計画的に老朽化対策改修工事を実施するとともに、LED化やトイレの洋式化を進め教育環境の向上に努める必要がある。

○スロープやバリアフリートイレの整備等、引き続きバリアフリー化を推進し、誰もが支障なく学校生活を送れるよう改修工事を進める必要がある。

○令和2年5月策定の「向日市小中学校個別計画」に基づき、令和6年度から第2向陽小学校の改築に向けて取り組む必要がある。

## 外部評価委員評価及び意見等

○講師の話聞くだけの内容ではない研修をさらに充実させていただきたい。参加者がグループごとに情報をやりとりしたり、考え方の違いを発言し合ったりする場を、積極的に設定したい。そのような交流から、様々なヒントを得る。また、自分の実践に返ってくる。教職員の深い学びの後押しとなる。

○交通指導員をシルバー人材センターに委託して配置していることは、交通安全対策だけでなく地域での児童生徒の見守り的な役割にもなっていてよい。また、児童が安心して通学できるよう交通指導員を2名増員したことも評価できる。

○限られた予算の中で、外壁改修工事、バリアフリー改修工事、トイレ改修工事などが上手に着実に進められている。今後も老朽化は進んでいく。計画的に的確な改修工事を続けていただきたい。

施策番号	5
施策名	学校・家庭・地域の連携・協働による学校の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>○保護者や地域社会と連携・協働しながら、未来の創り手となる子どもの資質能力をはぐくむ「社会に開かれた教育課程」の実現を目指す。</p> <p>○次代の社会の担い手としての責任を自覚し、現代社会が抱える課題に関心をもって、主体的に社会参画できる資質と能力をはぐくむ。</p>
--

事業名	学校評価
事業概要 実績	<p>○自己評価</p> <p>各学校は、評価計画に基づき教育活動に係る評価を実施することにより、各取組を改善した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校、学年、学級、校内分掌担当での評価を実施（年2～3回）</li> <li>・児童生徒、保護者、学校評議員にアンケート調査を実施（年3～4回）</li> <li>・評価と調査を基に教育活動を捉え直し、改善策を明確化</li> <li>・業務改善の視点を取り入れ実施（全小中学校）</li> </ul> <p>○自己評価の公表</p> <p>各学校は、各研究内容や授業改善の視点、家庭学習等、自己評価の結果を受けた教育活動の改善の方向性について学校だよりで周知した。</p>
担当課	学校教育課

事業名	コミュニティ・スクールの導入
事業概要 実績	<p>○小中学校における学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の導入及び進行管理</p> <p>①各学校のコミュニティ・スクール導入に対する支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校を訪問し、導入に向けた準備を支援。</li> </ul> <p>②各小中学校における学校運営協議会の状況把握とその運営を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各学校の運営協議会にオブザーバー参加し、状況を把握。</li> <li>・学校からの要請に応じて、他校での取組の紹介や、「熟議」のテーマ等について相談・支援。</li> </ul>
担当課	学校教育課

事業名	情報モラル教育
事業概要 実績	<p>○情報モラル教育の充実 各学校では特別の教科 道徳や学級活動等において、インターネット上の誹謗中傷やいじめ、個人情報の流出やプライバシーの侵害、有害情報やウイルス被害に巻き込まれるなどの問題の未然防止として、具体の被害を例示しながら対策や対応等について知識を習得させるなど、情報モラル教育を充実させた。</p> <p>&lt;企業との連携&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 3 向小 5・6 年生 1 1 月 (NTTドコモ)</li> <li>4・5・6 年生 1 2 月 (e ネットキャラバン)</li> <li>・ 4 向小 5・6 年生 3 月 (KDDI)</li> <li>・ 6 向小 4・5・6 年 9 月 (NTT)</li> <li>4・5・6 年 9 月 (KDDI)</li> <li>・ 西ノ岡中 1 年生 6 月 (NTTドコモ)</li> <li>・ 寺戸中 全学年 5 月 (KDDI)</li> </ul>
担当課	学校教育課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○全ての学校において年度内に学校運営協議会を開催し、コミュニティ・スクールの導入を図ることができた。また、導入が遅れた学校では十分な取組は難しかったが、8校では予定通りに年3回の学校運営協議会を持ち、校長が示す学校運営に関する基本的な方針の承認から、学校運営等に関する取組及び評価について協議することができた。</p> <p>○学校運営協議会委員は児童生徒の学習活動等を参観したり、協議会に生徒会の役員等がオブザーバー参加し意見交流したりするなど、学校の状況把握や児童生徒の意見等の把握に様々工夫した取組も見られた。</p> <p>○全児童生徒の発達段階に応じ、授業での指導はもとより学級活動等において、新学習指導要領で学習の基盤となる資質・能力の一つとして位置付けられた、情報活用能力（情報モラルを含む）の育成を図ることができた。</p> <p><b>【課題】</b></p> <p>○「向日市立の小学校及び中学校の教育職員の業務量の適切な管理等に関する規則」に基づき、各学校の状況に応じた業務改善を一層推進させるとともに、京都府教育委員会「教職員の働き方改革実行計画」の評価指標を学校評価と連動させ、自己評価の項目に追加するなど業務改善の点検・評価を全学校で実施する必要がある。</p> <p>○スマートフォンやSNSの利用が低年齢化する中、これらの利用を巡るトラブルが見られたため、各学校は、実態に応じて利用について家庭と一層連携を図るとともに、安心・安全な利用について企業等と連携した指導を継続させる必要がある。</p>	

## 外部評価委員評価及び意見等

○評価計画に基づき、教育活動に係る評価を行うことは、定着した。しかし、学校評価定着は、前例踏襲によって、形骸化の方向に流れやすい。卒業生や外部人材など、関わりのある人から、評価方法や結果分析に対して、新たな視点やアイデアを得る努力をしていただきたい。

○学校評価について、長年継続して実施し改善に努めていることは評価できる。保護者向けと学校評議員向けのアンケート内容については、質問の内容が答えにくいように感じたので、もう少し評価しやすい内容に変更してはどうか。

○コミュニティ・スクールはスタートしたばかりで、学校が目指す子供像の実現のためにどう構築していこうか模索している段階である。そんな中、学校運営協議会に生徒会の役員等がオブザーバー参加し意見交流したことは注目すべき点である。高く評価できる。今後もこのような機会を設けながら、学校運営がよりよい方向となるよう協力して進めていただきたい。

○タブレットを使用した学習が当たり前になっている昨今、情報モラル教育の充実は欠かせないものとなっている。継続して実施している学校があることは評価できる。

施策番号	6
施策名	生涯学習環境の充実

<p>施策の基本方向</p> <p>○市民が生涯にわたり、多様な学習活動を行うことができるよう、自主的、自発的な学習活動を支援するとともに、学習機会の提供、学習の成果を活かす場や機会の充実に努める。</p>
---

事業名	生涯学習情報紙の発行
事業概要 実績	<p>○市などが開催する生涯学習関連事業の情報を市民に提供するため、生涯学習情報紙を発行した。</p> <p>生涯学習情報紙：年4回(春・夏・秋・冬)</p> <p>各回500部紙印刷(市内公共施設等に配布)と市HPにPDFデータ掲載</p> <p>子ども向け夏休み情報紙：年1回(夏休み前)、各小中学校に配布</p>
担当課	生涯学習課

事業名	生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」への支援
事業概要 実績	<p>○生涯学習の推進に取り組むボランティアサークル「まなぼうや」の活動に対して、講座の受付や広報等の支援を行った。</p> <p>開催講座数：3講座 参加者数：34人</p>
担当課	生涯学習課

事業名	中央公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>○子どもふれあい講座の開催</p> <p>・ふしぎ発見！理科教室</p> <p>理科好きの子どもを育成するため、国家資格を有する科学の専門家(京都技術士会の会員)から理科の不思議について学ぶ「ふしぎ発見！理科教室」を5回開催した。</p> <p>①「電子オルガンをつくろう」</p> <p>スピーカーと簡単な部品で電気回路を作り、音の高低を調節して電子オルガンを作った。</p> <p>開催日：令和5年5月27日(土) 参加者数：7人</p> <p>②「カラーペンなどの色を分析してみよう」</p> <p>ろ紙と水を使って、サインペンの色がどのように分かれるか実験した。</p> <p>開催日：令和5年6月24日(土) 参加者数：10人</p> <p>③「電気自動車をつくろう」</p> <p>身近な部品を組み合わせ、手作りの電気自動車の模型を作った。</p> <p>開催日：令和5年7月29日(土) 参加者数：25人</p> <p>④「おいしい水をつくってみよう」</p>

浄水場のしくみを使って、きれいな水を作る実験を体験した。

開催日：令和5年8月26日（土） 参加者数：8人

⑤ 「あひるのがっしょう」

市特産の竹筒からアヒルの鳴き声を出せるおもちゃを作った。

開催日：令和5年9月30日（土） 参加者数：15人

○教養講座・健康講座の開催

・市民教養講座

① 「シニアのためのスマートフォン講座」

中高年を対象にスマートフォンの機能を学び、実際に使い生活に役立つことを知り、その便利さを体験した。今年度から、これまでの基礎編から少し応用を交えた基本編に移行して実施した。

開催日：令和5年9月1日（金）（午前・午後2回開催）

参加者数：25人 講師：ソフトバンク スマホアドバイザー

開催日：令和5年11月27日（月）（午前・午後2回開催）

参加者数：36人 講師：ソフトバンク スマホアドバイザー

② 「源氏物語に登場する秋の植物～紅葉、桔梗、女郎花、藤袴など」

源氏物語に登場する秋の花は楚々とした風情を感じる花が多く、紫式部の抒情的感性がよく表現されていることについて解説していただいた。

開催日：令和5年10月7日（土） 参加者数：28人

講師：京都府立大学 松谷 茂 客員教授

③ 「人生100年時代 ヘルシーエイジングのための生活習慣」

老化のメカニズムを知って、理想的なエイジングを得るための心得を一緒に考えた。

開催日：令和5年12月2日（土） 参加者数：37人

講師：京都府立大学 南山 幸子 教授

・市民健康講座

① 「歯から考える全身健康について」

虫歯の原因菌と認知機能との関係など口腔と全身健康に関して解説していただいた。

開催日：令和5年10月28日（土） 参加者数：30人

講師：京都府立医科大学 金村 成智 准教授

② 「病院や診療所の検査結果の見方」

病院や診療所などの医療機関での検査と結果の見方をわかりやすく解説していただいた。

開催日：令和6年2月3日（土） 参加者数：32人

講師：京都府立医科大学 稲葉 亨 准教授

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際理解講座 「フランス料理とポリティクス」 美味しさあふれるフランス料理とその食文化をめぐるフランスの活動を紹介していただいた。 開催日：令和5年9月15日（金） 参加者数：17人 講師：京都府立大学 玉井 亮子 教授</li>   <li>・市民文化講座 「童謡と唱歌の世界」 童謡・唱歌の歴史や違いを解説していただき、それぞれの歌の由来を紐解き全員で歌った。 開催日：令和6年1月13日（土） 参加者数：30人 講師：京都西山短期大学 島袋 章 客員教授</li>   <li>○市民文化展 市民の創作による作品を展示・発表する場を提供するとともに、市民の文化活動の活性化を図った。 開催日：令和5年11月18日（土）・19日（日）の2日間 出展者数：85人 出展数：93点 来場者数：363人 開催場所：永守重信市民会館第1・第2・第4会議室</li>   <li>○学習発表会「舞台の部」 公民館で活動しているクラブ・サークルが学習の成果を発表。 開催日：令和6年3月10日（日） 参加クラブ：登録5クラブ62人 来場者数：200人 開催場所：永守重信市民会館ホール</li> </ul>
担当課	中央公民館

事業名	地区公民館生涯学習講座
事業概要 実績	<p>身近な公民館で、一般教養、趣味などの講座に参加することにより教養を高め、また、地域の活性化が図れるように努めた。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○寺戸公民館 <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康講座「ヨガ体験教室」 健康に日々の生活を送れるよう、ヨガの呼吸や瞑想を体験した。 開催日：令和5年10月18日（水） 参加者数：20人 講師：ヨガサークル講師</li>   <li>・趣味・教養講座「楽しく学ぶ干支剪画教室」 剪画の技法を学び、令和6年の干支である「辰」の色紙を作成した。 開催日：令和5年11月10日（金） 参加者数：18人</li> </ul> </li> </ul>

	<p>講 師：剪画作家</p> <p>・趣味・教養講座「寄せ植えをたのしもう」  季節の花木を用いてクリスマスから新春を飾る寄せ植えを学んだ。  開催日：令和5年12月6日（水） 参加者数：30人  講 師：園芸店スタッフ</p> <p>○物集女公民館</p> <p>・趣味・教養講座「干支押し絵づくり」  手作りキットを使って、令和6年の干支（辰）飾りを作った。  開催日：令和5年11月18日（土） 参加者数：18人  講 師：物集女地区社協会長</p> <p>○鶏冠井公民館</p> <p>・趣味・教養講座「お正月の寄せ植え」  葉牡丹を中心に和物、洋物など7種類の植物で寄せ植えを作った。  開催日：令和5年12月22日（金） 参加者数：19人  講 師：園芸店スタッフ</p> <p>○上植野公民館</p> <p>・趣味・教養講座「金箔手工芸」  令和6年の干支(辰)の下絵が描いてある色紙に金と銀、色とりどりの箔で華やかにアレンジした。  開催日：令和5年11月29日（水） 参加者数：9人  講 師：金箔手工芸家</p> <p>○森本公民館</p> <p>・健康講座「元気で歩き続けるために」  歳を重ねるとともに衰えていく脚力を維持し、元気で歩き続けるための方法を紹介していただいた。  開催日：令和6年1月30日(火) 参加者数：41人  講 師：京都府立医科大学 三上 靖夫 教授</p> <p>○学習発表会「展示の部」  公民館で活動しているクラブ・サークルが学習の成果を発表。  開催日：令和6年2月～3月の毎週土日（各地区公民館が順次開催）  参加クラブ：登録30クラブ363人 全出展数713点  来場者総数650人</p>
担当課	中央公民館

事業名	図書館読書推進事業
事業概要 実績	<p>○資料の収集と貸出</p> <p>蔵書数 201,390点 貸出資料数 290,024点 貸出者数 85,921人</p> <p>○レファレンス・サービス</p> <p>受付件数 73件</p> <p>○予約サービスによる資料提供、他館との相互貸借、障がい者サービス</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予約処理件数 29,316件</li> <li>・インターネット予約受付件数 25,210件</li> <li>・相互協力 貸出 1,061件、借用 1,306件</li> <li>・障がい者サービス 自宅配本 28回 198点</li> </ul> <p>○読書の普及推進と読書環境の向上を図るための各種読書推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・おはなし会（7月、12月、3月） 参加者 99人</li> <li>・おはなしひろば（7月、8月、12月、3月を除く毎月） 参加者 155人</li> <li>・大人の朗読会（6月、9月、12月、3月） 参加者 60人</li> <li>・むこうビブリオバトル（7月、11月、3月） 参加者 34人</li> <li>・虹いろおはなし会（5月、8月、11月、2月） 参加者 52人</li> <li>・ミニミニリサイクルコーナー（通年） 譲渡数2,114冊</li> <li>・自習室の開設（8月） 利用者 34人</li> <li>・自習スペースの設置（12月開始） 利用者 527人</li> <li>・文学講座（3月） 参加者 67人</li> <li>・小中学生読書感想文コンクール（9月募集、12月表彰式） 応募者 161人</li> </ul> <p>○展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「どきどきわくわくみつけた！」（4月） おたのしみ袋、日替わりテーマ架展示（14テーマ）など</li> <li>・テーマ架（通年） 館内約10か所で季節、催事にあわせて図書を展示</li> <li>・おおきくなあれ「本の木」（通年） 応募数 217点</li> </ul> <p>○図書館ボランティアの育成及び支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ステップアップ講座（9月） 参加者 10人</li> <li>・ボランティア養成講座（9月） 参加者 10人</li> </ul>

	○他機関との協力 ・認知症図書の展示（向日市社会福祉協議会）
担当課	図書館

事業名	文化資料館運営事業
事業概要 実績	<p>○古代の都“長岡京”をテーマとした常設展示の運営、企画展・テーマ展等の展示、講演会・日曜談話会・歴史講座の開催、市民ボランティア活動の支援等を通して、向日市の各時代の歴史及び文化について広く発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 297日</li> <li>・入館者数 12,666人</li> </ul> <p>○企画展「扁額・古文書・檀林関係資料」 開催日：令和6年3月9日（土）～5月6日（月・祝） 期間中入館者数：798人（令和6年3月31日まで）</p> <p>○テーマ展示</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「武者人形と天神人形」 開催日：令和5年4月8日（土）～5月28日（日） 期間中入館者数：2,031人</li> <li>・「六人部暉峰と前田玉英」 開催日：令和5年6月3日（土）～7月30日（日） 期間中入館者数：1,734人</li> <li>・「くらしのなかの戦争展」 開催日：令和5年8月5日（土）～9月18日（日） 期間中入館者数：1,883人</li> <li>・「くらしの道具展」 開催日：令和6年1月20日（土）～2月29日（木） 期間中入館者数：1,579人</li> <li>・「ひな人形展」 開催日：令和6年2月17日（土）～3月24日（日） 期間中入館者数：944人</li> <li>・「向日市・乙訓の石碑」 開催日：令和6年3月9日（土）～5月6日（月・祝） 期間中入館者数：798人（令和6年3月31日まで）</li> </ul> <p>○文化活動事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜談話会 「明治期京都画壇の知られざる女性画家たち－六人部暉峰を中心に－」 開催日：令和5年6月18日（日） 参加者数：29人</li> </ul>

	<p>「北真経寺所蔵鶏冠井檀林関係資料について」  開催日：令和6年3月31日（日）  参加者数：28人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・古代衣裳関連事業 <ul style="list-style-type: none"> <li>古代衣裳公開研修「飛鳥時代～長岡京期 200年の衣裳変遷」  開催日：令和5年6月25日（日）  参加者数：24人</li> <li>連続ワークショップ「学んで語ろう！古代のみやこ・長岡京」  開催日：令和5年9月30日（土）・10月28日（土）・11月11日（土）  参加者数：14人（延べ42人）</li> </ul> </li> <li>・夏休み親子歴史教室 <ul style="list-style-type: none"> <li>「つくって学ぶ さわって感じる 和紙文化と向日庵」  開催日：令和5年7月27日（木）・28日（金）  参加者数：14人（延べ28人）</li> </ul> </li> <li>・課題解決型体験学習「戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～」  開催日：令和5年8月27日（日）・9月10日（日）・9月24日（日）・10月1日（日）・11月5日（日）・12月10日（日）・12月17日（日）・12月24日（日）・令和6年1月14日（日）・2月4日（日）  参加者数：17人（延べ159人）</li> <li>・小さいピアノ♪コンサート  開催日：令和6年1月13日（土）  参加者数：65人（うち、演奏者15人）</li> <li>・課題解決型体験学習「戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～」  学習発表会  開催日：令和6年2月4日（日）  参加者数：106人（うち、発表者15人）</li> <li>・歴史講座 <ul style="list-style-type: none"> <li>I 「明治・大正の乙訓漢文石碑を読もう」  開催日：令和6年3月10日（日）・3月17日（日）  参加者数：延べ79人</li> <li>II 「古文書を読もうー幕末京都の文人2 名産贈答ー」  開催日：令和6年3月23日（土）・3月30日（土）  参加者数：延べ68人</li> </ul> </li> <li>・企画展記念講演会  「文化財を守り伝えるー京都府暫定登録文化財向日神社社額を事例にー」  開催日：令和6年3月24日（日）  参加者数：34人</li> </ul>
	文化資料館

事業名	天文館運営事業
	<p>○プラネタリウム新番組の導入、講演会や講座の開催など、天文への興味・関心を高める事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開館日数 243日</li> <li>・投影日数 204日、投影回数 622回（10番組）</li> <li>・プラネタリウム一般投影 観覧者数 4,387人（特別投影を含む）</li> <li>・プラネタリウム団体投影 観覧者数 1,794人（55団体）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観覧者の内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>大人 2,781人、小中学生 1,386人、幼児 2,014人</li> <li>計 6,181人</li> </ul> </li> <li>・団体の内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>市内 12団体 373人、市外 43団体 1,421人</li> <li>（幼稚園 11団体 532人、保育所 17団体 496人）</li> <li>（こども園等 13団体 403人、小学校 2団体 119人）</li> <li>（その他 12団体 244人）</li> </ul> </li> </ul> <p>○定例天体観望会 参加者数 320人（12回開催）</p> <p>○特別天体観望会 参加者数 94人</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・昼の金星観望会（5月・10月 4回）</li> <li>・夏の親子天体観望会（8月 1回）</li> <li>・中秋の名月（9月 1回）</li> </ul> <p>○天文教室・講座 参加者数 547人（25回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・夏の天文教室（7月・8月 6回）</li> <li>・秋の天文教室（9月 1回）</li> <li>・冬の天文教室（1月・2月 2回）</li> <li>・天文実験講座（7月 1回）</li> <li>・天文学講座（10月・12月 2回）</li> <li>・天文よもやま講座（10月・11月 2回）</li> <li>・特別天文講演会（1月 1回）</li> <li>・出前講座（9月～10月：2向小・3向小・5向小・6向小 10回）281人</li> </ul> <p>○特別企画事業 参加者数 215人（6回開催）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕ファミリーコンサート（8月 2回）</li> <li>・熟睡プラネタリウム（11月 1回）</li> <li>・クリスマスコンサート（12月 1回）</li> <li>・キッズプラネタリウム（2月 2回）</li> </ul>

	○来館者総数 9, 209人 (内ロビーのみ入館者 2, 073人)
担当課	天文館

施策の成果と課題	
<p><b>【成果（全施設）】</b></p> <p>○全施設において事業内容がコロナ禍前の状況に戻りつつあり、引き続き安全対策を実施しながら事業を行うことができた。</p>	
<p><b>【成果（生涯学習課）】</b></p> <p>○生涯学習情報紙の発行回数を増やし、紙面も刷新、また市HPに掲載することにより、これまでより見やすく具体的に市などが開催する生涯学習関連事業の情報を、様々な方法で多くの市民に提供することができた。</p> <p>○生涯学習推進ボランティアサークル「まなぼうや」の活動支援等、市民の学習活動を支援するためのきっかけづくりや、学習機会の提供に取り組めるよう助言等することができた。</p>	
<p><b>【成果（中央公民館）】</b></p> <p>○理科好きの子どもを育成するため「ふしぎ発見理科教室」を1回増やし5回開催し、理科実験の体験を通じて子どもの好奇心や探求心が喚起できた。</p> <p>○地区公民館で開催する学習発表会の展示の部について、参加クラブ、出品数、来場者数とも昨年より増加し、公民館で活動しているクラブ・サークルが学習の成果を広く発表できた。</p>	
<p><b>【成果（図書館）】</b></p> <p>○玄関ロビーにテーブルと椅子を置き、来館者が「ほっとひといき」つけるコーナーを設置した。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行にともない、図書館の催し物に対しての事前申込制を、いくつかの行事を除き当日の自由参加（人数制限はあり）に変更し、利用者が参加しやすい状況に戻した。</p> <p>○図書館ロビーの掲示板に、「ぐるっとむこうバス」や「向日市防災マップ」のコーナーをつくり来館者の利便性と防災についての情報を提供した。</p> <p>○2階参考図書室の座席の一部を「自習スペース」として利用できるようにした。</p>	
<p><b>【成果（文化資料館）】</b></p> <p>○企画展「扁額・古文書・檀林関係資料」では、これまでに京都府暫定登録文化財となった向日市内の文化財のうち、扁額（社額）や古文書、歴史資料を、一部関連資料も交えて展示</p>	

し、すでによく知られているもののほかにも、さまざまな文化財が身近なところで守り伝えられていることを紹介することができた。

○テーマ展示「向日市・乙訓の石碑」では、江戸時代の学者・文人の墓碑や、向日市・乙訓地域にある記念碑のうち、漢文が刻まれているものを中心に、写真や拓本で展示して紹介した。これまでは拓本の収蔵数自体が少なく、展示の機会もあまりなかったが、今回新たに採拓した拓本も加えて新しい切り口で地域の歴史を紹介することができ、関連事業として開催した歴史講座も好評であった。

○古代衣裳関連の新たな取組として、小学生を対象として連続ワークショップ「学んで語ろう！古代のみやこ・長岡京」を実施した。古代衣裳や長岡京の歴史の学習、装飾品の製作体験を行った上で、大極殿祭の会場で復元古代衣裳を着た参加者が長岡京遷都にまつわるエピソードの群読を披露した。古代衣裳を通じて、短命に終わったとはいえ当時世界的な大都市であった長岡京の中心部分が本市にあったことを発信することができた。

○課題解決型体験学習「戦国時代へタイムスリップ！～西岡衆をさぐる～」では、公募で集まった小中学生が、室町～戦国時代に乙訓地域で活躍した国衆・西岡衆について、文書・書状の学習、かぶと作り、茶の湯・連歌体験、城跡見学、いくさ体験、乗馬体験、寄合体験など、全10回の体験学習で様々な角度から学んだ。これまでにない画期的な取組であり、教育や歴史の専門家からも高く評価された。

#### 【成果（天文館）】

○一般投影について、全体に昨年度より観覧者数が増える傾向にあった。期間限定の人気番組については特に、全国津々浦々から来館され観覧者数が集中的に増えた。団体投影については、確実に団体数、観覧者数共に増えているが、コロナ前の観覧者数には、戻っていない。各教室、講座など定員数を増やしたことや内容の幅が広く豊富で市民の興味・関心と合ったと思われ、参加者が増える傾向であった。

リピートの方も多いが、さまざまな年齢層の方が天文に関心を持っていただくことが出来た。

○プラネタリウム室を利用した小学校対象の星空を学ぶ機会や学校に出向き行う出前講座などを通し、天文への興味が広がっていった。

○キッズプラネタリウム『こぎつねチロンと星の王子さま』、天文講座『今年はプラネタリウム100周年』などは天文館30周年記念行事として取り組んだ。特にキッズプラネタリウム『こぎつねチロンと星の王子さま』は長岡京跡をテーマに図書館、文化資料館、文教課が連携・協力して作成し見ていただきました。

生涯学習課4課がそれぞれの特色を生かし連携・協力し完成した作品は、幼児・小学生を中心にさまざまな年代の方に喜んでいただだけ意義のある内容であった。

○天文学を深めたり、身近に感じてもらえる機会が多くもてた。

#### 【課題（生涯学習課）】

○生涯学習について、引き続き市民が自主的・自発的に学習活動に取り組めるよう、各課・関係機関が行っている講座の情報について、より見やすい紙面となるよう効果的にとりまとめる工夫が必要である。

#### 【課題（中央公民館）】

○理科教室について、開催時期によっては参加者が少ないケースも見受けられ、今後は、広報のあり方を含め周知方法について検討する必要がある。

○学習発表会の舞台の部について、参加されるクラブ・サークルが減少しており、今後は機会を捉えて広く参加について呼びかける必要がある。

#### 【課題（図書館）】

○利用促進のためには、多様なニーズを把握した上で、資料の購入、除籍を行い、常に新鮮な蔵書構成を保つ能力と資料を活用した事業を企画する能力が欠かせない。そのためには、府や団体が行う研修会参加や自己啓発などにより、職員の資質能力の向上を図る必要がある。

#### 【課題（文化資料館）】

○年間入館者数は前年度より2,300人以上増加したが、コロナ禍以前の水準までは戻っていない。展示事業、文化活動事業ともに、多様なニーズを考慮しながら内容の充実と周知方法の工夫を行い、入館者数の一層の増加につなげる必要がある。

○古代衣裳関係事業は、文化資料館の特徴的な取組の一つである。今後もボランティアと協力・連携し、復元古代衣裳を活用して古代の都・長岡京を広く発信していく必要がある。

○令和3年度に運用を開始したクラウド型収蔵品管理システムでは、民俗資料を中心として3,300件以上のデータを公開している。今後もデータの新規登録、解説文の追加・修正など、一層の充実を図っていく必要がある。

#### 【課題（天文館）】

○天文館の存在を市内、市外問わず広く知ってもらえるよう今後も宣伝活動に努め、利用促進を進めていく必要がある。

○定例観望会開催申し込み方法を現在のハガキ利用から段階的にWEB化し、より便利な方法で幅広く利用できるよう改善する必要がある。

○天文館がより魅力のある場所として利用してもらえるよう事業内容を充実させることや環境整備を行う。

## 外部評価委員評価及び意見等

○生涯学習情報紙は、教育委員会所管課に限らず市役所全課に渡る情報が網羅されている。市民の利便性を考えて作成されていることは評価できる。

○公民館の講座では、健康都市と謳われているだけあり健康に関するものが充実している。また、趣味・教養に係るものとしてお正月の寄せ植え講座が継続して行われていたり、国際理解に関するものとしてフランス料理を取り入れるなどの工夫がされており、それぞれの講座がすばらしいものとなっている。

○図書館において、人が集える場所として新たに「ほっとひといき」つけるコーナーを設置したことや、座席の一部を自習スペースとして利用できるようにしたことは評価できる。

○年々、書店が少なくなってきており、本と接する機会として図書館の役割が重要になっている。その中で、図書館は意欲的な取組が多い。今後も魅力的な場となるような取組を行っていただきたい。

○文化資料館の企画展は、日常とは違う空間に触れることができ、内容も大変豊富なものとなっている。新たに転入してきた方々が増えてきたことにより歴史の深い市であることを知らない市民も多く、今後もより広くわかってもらえるような取組を続けていただきたい。

○天文館がある自治体は少ない。プラネタリウムだけでなく JAXA を講師に迎えて宇宙に関する講座を開催するなど広がりのある事業が展開されている。高く評価できる。向日市は歴史のある市でもある。向日市は、過去から未来につながる、学習環境のリソースが大変多く充実した魅力ある市である。その魅力を活かそうとする取組が進んでいる。

○生涯学習分野には学校教育における学習指導要領のような枠はない。向日市では、市民がどんなことを願っているかというニーズを上手に掴み、次のニーズへと活かしている点が素晴らしい。限られた予算の中で、企画している一人一人のやる気や工夫が感じられる。

施策番号	7
施策名	家庭・地域社会の教育力の向上

<p>施策の基本方向</p> <p>○家庭教育はすべての教育の出発点であり、その担い手である保護者自身が学ぶための学習機会の充実に努める。</p> <p>○学校・家庭・地域社会が連携して、様々な活動を通して地域の絆を強め、地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進する。</p>
---

事業名	家庭教育講座
事業概要 実績	<p>○講演会「コロナ禍における子どもへの影響～子どもの成長に大切なもの～」</p> <p>講師：立命館大学産業社会学部 石田 賀奈子 教授</p> <p>開催日：令和5年9月30日(土)</p> <p>参加者数：14人</p> <p>場 所：永守重信市民会館第2会議室</p>
担当課	生涯学習課

事業名	P T Aとの連携・支援
事業概要 実績	<p>○向日市P T A連絡協議会の年11回の理事会、軽スポーツ大会等の活動で支援・助言を行った。</p> <p>○社会教育関係団体に補助金を交付した。</p> <p>交付団体：市立小中学校P T A</p> <p>○向日市P T A連絡協議会との共催による人権研修会を実施した。</p> <p>第1回「アニメ映画から私たちの身近な人権を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年8月4日(金)</li> <li>・場 所：永守重信市民会館第1会議室</li> <li>・参加者数：32人</li> </ul> <p>第2回「私」からはじめる「私たち」の多様性社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年10月13日(金)</li> <li>・場 所：永守重信市民会館第1会議室</li> <li>・参加者数：23人</li> </ul>
担当課	生涯学習課

事業名	地域学校協働活動推進事業
事業概要 実績	<p>○保護者をはじめ自治会や農家組合の方など幅広い地域住民の参画を得て、学校に対する多様な協力活動を実施し、地域全体で児童生徒の学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、学校と地域の方々が双方向で連携・協働し、子どもたちが安心して暮らせる環境づくりを推進した。</p> <p>実施校：向陽小（H26～）、2向小（H24～）、3向小（H21～） 4向小（H29～）、5向小（H27～）、6向小（H28～） 勝山中（H27～）、西ノ岡中（H25～）、寺戸中（R元～）</p> <p>本部委員：58人</p> <p>内 容：学習支援 向陽小、2向小、3向小、4向小、6向小 勝山中、西ノ岡中、寺戸中 環境整備 向陽小、5向小、6向小</p>
担当課	生涯学習課

事業名	放課後児童サポート事業
事業概要 実績	<p>○子どもの安心・安全な居場所づくりを目的に、5時間目終了後から高学年の授業終了までの間、低学年を対象に自由遊び等を行った。</p> <p>実施場所：向陽小、2向小、3向小、5向小、6向小 ※4向小は、再開準備中です。</p> <p>実施回数：68回</p> <p>内 容：グラウンド・体育館での自由遊び、教室での学習支援など</p>
担当課	生涯学習課

事業名	青少年健全育成団体との連携・支援
事業概要 実績	<p>○青少年健全育成団体との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・安全見守りパトロール 自宅周辺の自主パトロールに変更実施</li> <li>・あいさつ運動 小中学校登校時に実施（2団体）</li> <li>・市民ふれあいコンサート 出演者など関係者のみで開催</li> </ul> <p>参加校・参加団体 市内3中学校及び京都西山高等学校の吹奏楽部、京都管楽合奏団 ARTY BEARS</p> <p>○青少年健全育成団体への補助金を交付した。 交付団体数：4団体</p>
担当課	生涯学習課

## 施策の成果と課題

### 【成果】

○家庭教育講座では、子ども達にとって、18歳までの家庭や社会環境の重要性と地域社会が子どもたちに対してできることを改めて学ぶことができ、受講者アンケートを見ても一定の評価を受けた。

○地域学校協働活動推進事業については、ポストコロナ禍としてすべての小中学校で、事業を再び実施することができ、地域と学校との連携、協働を図ることができた。

○PTA・青少年健全育成関係団体の活動の運営及び事業に要する経費の一部を補助することで、社会教育の振興・発展を図るための活動に対する支援を行うことができた。

○「市民ふれあいコンサート」は、昨年同様新市民会館ホールにて、またポストコロナ禍でもあり、生徒保護者の観覧を受け入れる方法で開催することができた。参加生徒からは、他校の演奏が聴けて今後の励みになるという声があり、開催に一定の効果があった。

### 【課題】

○家庭の教育力の向上を図るため、子どもの家庭教育に関する学習機会の提供や、基本的な生活習慣の重要性や現代的課題などの理解促進に向けた取組を継続して推進することが必要である。引き続き、PTAや地域学校協働活動推進事業等の各団体の方の声を集め、今必要な課題を探り、関連する講演会の実施につなげていきたい。

○地域全体で子どもたちをはぐくむ環境づくりを推進するため、地域学校協働活動推進事業における人材確保に努めるとともに、PTAや青少年健全育成関係団体の活動を継続して支援することが必要である。

また、学校運営協議会において熟議された学校のニーズを踏まえ、地域学校協働活動を実施し、その成功体験等を学校運営協議会に共有するなど、地域学校協働活動とコミュニティ・スクール（学校運営協議会を設置した学校）の一体的推進を図る必要がある。

## 外部評価委員評価及び意見等

○家庭教育講座において、ただ講演を聴くだけでなく、日頃の疑問を自由に相談できるフリートークの時間が設けられていたことは大変評価できる。講演会の対象者は、ある程度絞った方がその内容についての相談もしやすいと思われる。また、参加人数が注目されがちではあるが、それにはあまりこだわらず、来てよかったと思ってもらえるような取組を続けていきたい。

○人権研修会では、アニメという身近なテーマを選択するなどの工夫が見られる。PTA連絡協議会との共催で開催することにより、子育てしている若い世代にも人権について正しい理解を深めてもらう機会が設けられたことは評価できる。

○放課後児童サポート事業について、シルバー人材センターの方が主体となって行っていることは、子どもの安心・安全な居場所づくりになっている。それに加え、高齢者の方も元気になっている。地域にとっても素晴らしいことであり、今後も継続していただきたい。

施策番号	8
施策名	安心して産み育てる体制づくり

<p>施策の基本方向</p> <p>○安心して子どもを産み、健やかに育てることができる環境づくりを推進する。</p>
--

事業名	放課後児童健全育成事業（留守家庭児童会運営事業）																												
事業概要	○放課後などに保護者等が仕事などで不在の小学生に、遊びや生活の場を提供し、その健全な育成を図った。																												
実績	<p>①各留守家庭児童会入会児童数（令和5年5月1日現在）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>166人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>131人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>97人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>198人（4クラブ）</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>154人（3クラブ）</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>65人（2クラブ）</td></tr> <tr><td>計</td><td>811人</td></tr> </table> <p>②各留守家庭児童会夏季入会児童数（令和5年7月21日～8月24日）</p> <table border="0"> <tr><td>第1留守家庭児童会</td><td>19人</td></tr> <tr><td>第2留守家庭児童会</td><td>25人</td></tr> <tr><td>第3留守家庭児童会</td><td>10人</td></tr> <tr><td>第4留守家庭児童会</td><td>23人</td></tr> <tr><td>第5留守家庭児童会</td><td>22人</td></tr> <tr><td>第6留守家庭児童会</td><td>9人</td></tr> <tr><td>計</td><td>108人</td></tr> </table> <p>③指導員研修会の実施 計8回</p> <p>「不審者対応と地震対応（地震体験）」（5月）</p> <p>「救命救急講習」（6月）</p> <p>「障がいのある児童について」（9月）</p> <p>「メンタルヘルス研修」（10月）</p> <p>「人権研修（犯罪被害に遭うということ）」（11月）</p> <p>「遊びの理解と支援」（1月）</p> <p>「パソコン研修」（2・3月）</p> <p>④留守家庭児童会巡回支援相談事業の実施</p> <p>放課後児童健全育成事業の育成支援の内容の質の向上（指導員のレベルアップ）を図るため、留守家庭児童会の巡回相談を実施した。</p> <p>&lt;令和5年度実施回数&gt;</p> <p>計4回</p>	第1留守家庭児童会	166人（3クラブ）	第2留守家庭児童会	131人（3クラブ）	第3留守家庭児童会	97人（2クラブ）	第4留守家庭児童会	198人（4クラブ）	第5留守家庭児童会	154人（3クラブ）	第6留守家庭児童会	65人（2クラブ）	計	811人	第1留守家庭児童会	19人	第2留守家庭児童会	25人	第3留守家庭児童会	10人	第4留守家庭児童会	23人	第5留守家庭児童会	22人	第6留守家庭児童会	9人	計	108人
第1留守家庭児童会	166人（3クラブ）																												
第2留守家庭児童会	131人（3クラブ）																												
第3留守家庭児童会	97人（2クラブ）																												
第4留守家庭児童会	198人（4クラブ）																												
第5留守家庭児童会	154人（3クラブ）																												
第6留守家庭児童会	65人（2クラブ）																												
計	811人																												
第1留守家庭児童会	19人																												
第2留守家庭児童会	25人																												
第3留守家庭児童会	10人																												
第4留守家庭児童会	23人																												
第5留守家庭児童会	22人																												
第6留守家庭児童会	9人																												
計	108人																												

	<p>⑤施設環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第6留守家庭児童会の増築</li> <li>・全児童会にPC設置（ICT化事業）</li> <li>・建具、網戸、トイレなどの施設修繕</li> </ul>
担当課	生涯学習課

事業名	幼児教育の振興
事業概要 実績	<p>○向日市私立幼稚園設備費補助金 園児に安全で快適な教育環境を提供し、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の設備等の充実に係る経費を補助した。 交付：市内3園 630,000円（1園当たり210,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園教材教具購入補助金 在籍する園児の保護者負担の軽減を促進するとともに、幼稚園教育の振興を図るために、市内私立幼稚園の設置者に対し、私立幼稚園の教材教具の購入に係る経費を補助した。 交付：市内3園 270,000円（1園当たり90,000円） また、令和5年度から消耗品及び図書を購入費用について補助を拡充した。 拡充分 422,100円（469人：市内在住の園児一人当たり900円）</p> <p>○乙訓私立幼稚園協会教育研究補助金 乙訓私立幼稚園協会が実施した教育研究事業に係る経費を補助することにより、市内に設置された私立幼稚園における幼稚園教育の振興を図ることができた。 交付：195,000円（1園当たり65,000円）</p> <p>○向日市私立幼稚園特別支援教育振興補助金 障がいのある幼児の円滑な受入れを推進し、教育の充実に図り、適切な保育環境を提供するために、市内私立幼稚園の設置者に対し、障がいのある幼児の特別な教育的支援の実施に要する人件費を補助した。 交付：市内3園 総額 2,940,000円（30人：補助単価98,000円）</p>
担当課	文教課

## 施策の成果と課題

### 【成果（生涯学習課）】

○留守家庭児童会では、入会要件を満たす児童を全て受け入れたことで、保護者のニーズに応えることができた。また、第6留守家庭児童会の増築や施設ごとに必要な修繕を行うことにより、良好な保育環境を保つことができた。

### 【成果（文教課）】

○私立幼稚園の設備、備品の整備を促進するとともに教職員の教育研究事業等を支援することにより、幼稚園教育の振興を図ることができた。

障がいのある幼児を受け入れる私立幼稚園を支援することにより、障がいのある幼児の就園促進及び教育の充実を図り、適切な保育環境の提供を推進することができた。

○令和5年度から教材教具購入補助金について補助を拡充し、更なる幼稚園教育の振興を図ることができた。

### 【課題（生涯学習課）】

○児童が安心・安全に過ごすことができ、保護者も安心して就労することができるよう、各留守家庭児童会において引き続き指導員の確保及び環境整備に努める必要がある。

### 【課題（文教課）】

○幼児教育の重要性を踏まえ、引き続き私立幼稚園の設置者に対して補助金の支給を行い、幼稚園教育の振興を図る必要がある。

## 外部評価委員評価及び意見等

○留守家庭児童会では入会要件を満たす児童をすべて受け入れたことは評価できる。今後もこの方向で継続していただきたい。

○特別支援教育振興補助金に関連して、幼稚園から小学校への連携に活かせるようなシステムの構築を検討していただきたい。

○教材教具購入補助金について、消耗品等の補助を拡大して幼稚園教育の充実を図ったことは評価できる。

施策番号	9
施策名	スポーツ活動の推進

<p>施策の基本方向</p> <p>○スポーツを「する」「みる」「ささえる」を通じたスポーツ人口の拡大を目指し、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実に努める。</p>
--

事業名	各種スポーツイベントの開催
事業概要 実績	○市民総合体育大会 参加者：606人 ○スポーツ交流フェア 1,194人
担当課	生涯学習課

事業名	市民体育館の管理運営
事業概要 実績	○平成18年度から指定管理者制度を導入し、令和3年度から5年間の指定管理者に（公財）向日市スポーツ文化協会を指定している。 ・体育室稼働率：87.9% ※トレーニング室は健康増進センターに移転のため、令和5年1月15日閉室 健康増進センター内トレーニング室利用者：38,120人 ○卓球室利用者：2,731人
担当課	生涯学習課

事業名	スポーツ指導者育成
事業概要 実績	○スポーツ推進委員の育成 研修会の開催（毎月1回）、スポーツイベントへの派遣など
担当課	生涯学習課

事業名	学校等体育施設開放事業
事業概要 実績	○社会体育の振興を図るため、学校等体育施設の開放を行った。 ・使用回数 小学校 体育館：2,117回 グラウンド：1,763回 中学校 体育館・武道場：918回 向日町競輪場スポーツ施設：430回
担当課	生涯学習課

## 施策の成果と課題

### 【成果】

○令和4年度は、新型コロナウイルス感染症防止のための各種スポーツ事業の開催中止がみられたが、今年度は市民総合体育大会の開催や年間を通じての学校等体育施設の貸出しなど中止となっていた事業を再開、実施でき、スポーツを行う機会を提供することができた。

○（公財）向日市スポーツ文化協会の各種スポーツ教室などを実施し、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図った。

○スポーツ推進委員では、主に「キンボール」の研究に取り組み、乙訓スポーツ推進委員研究協議会や市民向けの体験会で競技の普及を図るとともに、ウォーキングやラジオ体操を行う事業を実施するなど、市民の健康推進とスポーツに親しめる環境づくりに努めた。

### 【課題】

○自らの意欲や健康状態に応じて、誰もが気軽にスポーツに取り組めるよう、引き続き（公財）向日市スポーツ文化協会や関係機関・団体と連携して事業に取り組み、幅広い年齢層の方々にスポーツに接することができる機会を提供し、スポーツの実施率の向上などを図る必要がある。

○令和3年3月策定の「向日市スポーツ推進計画」に基づき、市民が健康で心豊かに暮らせるよう、市民一人一人のライフステージに応じたスポーツ活動の推進とスポーツに親しめる環境の充実を図っていく必要がある。

## 外部評価委員評価及び意見等

○スポーツ推進委員は、様々な競技の普及を図りスポーツ活動推進の地盤の強化となっている。今後もスポーツ推進委員の育成を継続し、スポーツに親しめる環境づくりの充実に努めていただきたい。

○スポーツを「する」人だけでなく「みる」「ささえる」人もスポーツ人口に入るという考え方を知った人が、それをまた誰かに伝えていくことにより、スポーツに対する意識を少しずつ変えていくことができると思われる。そういう地道な活動を支える人を増やしていくことが大事である。

施策番号	10
施策名	多様性を認め合う社会の実現

施策の基本方向  
 ○市民が生涯のあらゆる場や機会を通じて、人権尊重の理念や、同和問題など様々な人権問題についての正しい理解と認識を深めるとともに、実践につながる自発的な学習活動の促進と、その啓発に努める。

事業名	人権研修会
事業概要 実績	<p>市民がそれぞれの状況に応じて、人権尊重の理念に対する理解を深め、これを体得することができるよう、人権について学ぶ機会として開催した。</p> <p>第1回「アニメ映画から私たちの身近な人権を考える」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年8月4日（金）</li> <li>・場 所：永守重信市民会館第1会議室</li> <li>・参加者数：32人</li> </ul> <p>第2回「私」からはじめる「私たち」の多様性社会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開催日：令和5年10月13日（金）</li> <li>・場 所：永守重信市民会館第1会議室</li> <li>・参加者数：23人</li> </ul>
	生涯学習課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>○参加者のアンケート結果から第1回目は、受講してよかったとの回答が大半をしめており、自由記述をみても、わかりやすい言葉や資料をつかった説明で、今後の参考にしたい、子どもたちの人権学習の教材としては有効だと思う、これまで映画をみていて気づいていなかった被差別の歴史を知ることができ、大変有意義だったとの評価を得ていて、参加者の人権学習に成果がみられた。参加者は保護者と参加した小学校高学年～成人（向日市内の教職員も多数参加）まで幅広い年齢層であった。</p> <p>第2回目については「外国人への差別・同和問題」をテーマにして、講演をおこなった。アンケートの自由記述をみると、自分の親世代は差別をしていた典型だが、自分たちが子世代にその意識を残さないためにどうしたらいいのか考えさせられた、意識的か否かではなく、知らず知らずのうちに差別につながる言葉があることを知った、体験された実話を聞くことができ、人権について考えていく機会になったなどの感想があり、参加者の人権学習に成果がみられた。</p> <p>また、学び続けることのよさ、学ぶことは今後の人生の上で、より良い選択ができるということだと理解できたなど、生涯学び続けることの意義を感じた感想も見られた。</p>	
<p><b>【課題】</b></p> <p>○より多くの市民に参加してもらえるよう、市民に身近なテーマの選択や周知方法等を工夫</p>	

する必要がある。

#### 外部評価委員評価及び意見等

○アンケートの自由記述に自分の言葉でしっかりと記載されていたことから、参加者が内容をよく理解した研修会であったことがわかる。人権に対する認識を深めたことは評価できる。

○第1回目は、アニメ映画という身近な題材で多くの市民に興味を持ってもらえるようなテーマが選択されていた。今後も幅広い市民に参加してもらえるようテーマや講師の選択について工夫をしていただきたい。

施策番号	11
施策名	歴史・文化資源の整備と活用

施策の基本方向  
 ○文化財の保護及び積極的な整備や活用に努め、歴史・文化資源を未来に継承する。

事業名	有形文化財の保護と活用事業
事業概要 実績	<p>○建造物の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 旧寿岳家住宅（向日庵）を国の有形文化財原簿に登録するため（国登録有形文化財とするため）、申請（意見具申）に添付資料として必要な建物等の平面図を作成する。</li> <li>・内容 旧寿岳家住宅及び前面（西・北）道路の平面図を作成し、当該平面図に既存建物配置図を合成、石垣及び門柱オルソ画像作成及び解析、その他、旧寿岳家住宅を国登録有形文化財とするための必要な測量業務（境界確定を除く）を実施した。</li> </ul>
	<p>○建造物の整備と活用</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国登録有形文化財旧上田家住宅を保存修理し活用を図る。</li> <li>・内容 令和3年度に開館した史跡長岡宮跡にある国登録有形文化財旧上田家住宅に案内員を配置し、来訪者に対して市内の歴史・文化遺産の案内解説を行うことで、一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。</li> </ul> <p>・開館日数 296日            ・来訪者数 8,603人            ・一日平均 29.06人            ・累計来訪者数 17,685人            ・その他 上記の案内解説に加えて、史跡長岡宮跡内裏内郭築地回廊（国登録有形文化財旧上田家住宅）ギャラリー展示など地域学習や研修の場としても、国登録有形文化財旧上田家住宅・南内裏公園を活用に供した。</p>
	<p>○建造物の防災設備維持管理補助</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の修理や防災設備維持管理、災害復旧等に要する経費を補助する。</li> <li>・補助等 3事業者 3事業 210,000円</li> </ul>
	<p>○建造物の防火・防犯</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目的 国及び京都府指定等文化財（建造物）の適切な管理を図るため、文化財火災予防運動の期間中に、広報活動、消防訓練、消防設備の立入検査等を実施する。</li> <li>・訓練 令和6年1月29日（月） ※震災による消防職員派遣のため中</li> </ul>

	<p>止。</p> <p>・ 検 査 令和6年1月24日（水） 指定文化財及び登録文化財の建造物に立ち入り、消防設備の点検及び防火意識の高揚を図った。</p>
担当課	文教課

事業名	史跡の保護と活用事業
事業概要 実績	<p>○史跡公園整備事業 長岡宮跡大極殿東面回廊地区の保全整備を図るため、埋蔵文化財発掘調査を実施し、その成果を反映した整備に係る実施設計を行った。</p> <p>○史跡の保全 国に対して物集女城跡を史跡指定申請(意見具申)するため、各筆の土地所有者及び土地境界を正確に把握して、申請に必要な合成公図などを作成した。</p> <p>○史跡等の文化財保存団体への補助 ・ 目 的 市内に所在する史跡等の保存団体が実施する文化活動に要する経費を補助する。 ・ 補 助 等 2団体 59,000円</p> <p>○史跡指定地等文化財用地の維持管理 ・ 目 的 史跡指定地等の文化財用地の清掃、除草、樹木の剪定、生垣刈込等を実施し、史跡環境の保全に努める。 ・ 内 容 文化財用地11か所において、延べ158回の維持管理作業を実施した。</p> <p>○史跡乙訓古墳群の維持管理 ・ 目 的 史跡指定地等文化財用地の中でも令和元年度に取得した史跡乙訓古墳群の五塚原古墳(37,242.22㎡)及び寺戸大塚古墳(4,380.14㎡)は、保全状況が十分でないため、境界付近の危険木の枝払い作業を実施し、史跡環境の保全に努める。 ・ 内 容 寺戸大塚古墳は、タケノコの除去や竹の間伐を実施した。 五塚原古墳は、前面道路等隣接地に伸びた樹木の伐採を実施した。</p>
担当課	文教課

事業名	埋蔵文化財の保護と活用事業
	<p>○開発等に係る埋蔵文化財の審査 ・ 目 的 市内の周知の埋蔵文化財包蔵地内で実施される開発等を審査し、必要な場合は保存措置を行う。</p>

事業概要 実 績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・件 数 開発、まちづくり条例に係る文化財審査 28件</li> <li>建築確認申請に係る文化財審査 217件</li> <li>埋蔵文化財発掘届出書受理 189件</li> <li>埋蔵文化財発掘通知書受理 21件</li> </ul> <p>○埋蔵文化財発掘調査等事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目 的 長岡京跡ほか本市の特色ある埋蔵文化財を保護するため各種の調査を実施する。</li> <li>・発掘調査 16件 1,651.00㎡</li> <li>・立会調査 151件 (埋蔵文化財詳細分布調査)</li> <li>・出土遺物 47箱</li> </ul> <p>○埋蔵文化財出土遺物保存処理事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目 的 埋蔵文化財発掘調査出土品に、科学的処理を施し、腐食等の進行を最小限に留める。</li> <li>・種 別 等 長岡京跡ほか埋蔵文化財発掘調査出土遺物 京都府指定文化財 (考古資料)</li> <li style="padding-left: 20px;">物集女車塚古墳出土 f字形鏡板付轡 1点</li> <li style="padding-left: 20px;">物集女車塚古墳出土 楕円形杏葉 1点</li> <li style="padding-left: 20px;">物集女車塚古墳出土 有脚伏鉢形雲珠 1点</li> <li style="padding-left: 20px;">物集女車塚古墳出土 馬鐸 1点</li> <li>・処理方法 鉄製品 アルカリ性水溶液含浸 銅製及び青銅製 ベンゾトリアゾール溶液含浸</li> </ul> <p>○埋蔵文化財出土遺物整理分類事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目 的 数多くある埋蔵文化財出土遺物を適切に管理するため、国や府の基準に基づき分類整理する。</li> <li>・内 容 埋蔵文化財発掘調査等の出土遺物を活用度に応じA～Dの四種類に分類し、データベースを作成した。</li> <li>・成 果 令和5年度コンテナ 119箱 1,710点 累計コンテナ 12,211箱 累計遺物個体数 75,357点 ※ (点数は活用頻度の高いA、B分類のみ)</li> </ul>
	担当課

事業名	文化財の広報普及事業
事業概要 実 績	<p>○史跡長岡宮跡朝堂院公園公開・説明事業 (平成22年6月22日 開所)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・目 的 史跡整備を実施した長岡宮跡朝堂院西第四堂地区に設置した案内所に案内員を配置し、史跡来訪者に対し史跡及び市内の歴史・文化遺産の案内解説を行い、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。</li> <li>・開園日数 359日</li> </ul>

- ・来訪者数 6, 106人
- ・1日平均 17.01人
- ・累計来訪者数 92, 431人
- ・その他 市内小学校の学年、クラス単位の地域学習や教職員研修の場として朝堂院公園を活用した。

○復元体感アプリ「AR長岡宮」の活用と拡充（平成26年3月末に配信開始）

- ・目的 史跡長岡宮跡の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。
- ・利用者数 397人      ダウンロード 381人  
貸出タブレット 16人
- ・累計利用者 23, 900人      ダウンロード 18, 609人  
貸出タブレット 5, 291人

○復元体感アプリ「墳タビ！物集女車塚古墳」の活用（平成29年3月末に配信開始）

- ・目的 史跡乙訓古墳群（物集女車塚古墳）の理解を促進するためAR、VR技術を用いて作成した無料アプリケーションを通じ、史跡の一層の活用と地域振興・観光振興に寄与する。
- ・利用者数（ダウンロード）数  
令和5年度 184人  
累計 10, 243人

○古代衣装の貸出（長岡京期の衣装 男女各4着）

- ・場所 朝堂院公園案内所
- ・貸出数 17人

○史跡乙訓古墳群物集女車塚古墳石室一般公開

- ・目的 良好な形で現存し、保全整備工事が終了した物集女車塚古墳の横穴式石室を広く公開し、史跡乙訓古墳群への理解を得る。
- ・期間 令和5年5月27日（土）～6月4日（日）
- ・見学者 783人
- ・その他 公益財団法人向日市埋蔵文化財センターでは、石室公開に併せ、小学校でふるさと学習を実施した。

○市民考古学講座開催事業

古墳時代の王権と淀川水系

- ・目的 向日市の特色ある歴史・文化遺産を題材とし講座を開催する。
- ・開催名 古墳時代の王権と淀川水系
- ・開催数 講座4回と講演会1回

- ・参加者 講座 計199人  
講演会 68人

○埋蔵文化財調査成果展の開催

(1) 寺戸大塚古墳の最新調査成果展

- ・目的 前年度に実施した発掘調査成果について展示し広く市民に広報する。
- ・期間 令和5年9月30日(土)～11月26日(日)
- ・来館者 2,908人
- ・講演会 演題 あらためて問う。前方後円墳から何が語られるか  
開催日 令和5年10月29日(日)  
参加者 56人  
演題 古墳出現の道  
開催日 令和5年11月26日(日)  
参加者 64人

(2) 史跡長岡宮跡内裏内郭築地回廊ギャラリー展示

- ・目的 史跡長岡宮跡内裏地区で実施した主な発掘調査成果について展示し、広く市民に広報する。
- ・期間 令和5年6月20日(火)～令和6年3月3日(日)
- ・参加者 計374人

○埋蔵文化財等保管資料の活用

- ・出土遺物等資料の貸出 4機関に 44点
- ・写真資料提供、掲載等承諾 13機関に 58点
- ・保管資料の調査・見学対応 8機関に 18点

○史跡長岡宮跡朝堂院西第四堂復元・体感具「ふわふわ!朝堂 in」の活用

- ・目的 史跡長岡宮跡の適切な保全と広報・普及啓発を図るため、朝堂院西第四堂を模した塩化ビニル製の体感具を活用しイベントを開催した。
- ・活用日 令和5年8月9日(水)
- ・利用者 131人

○史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳竹林小屋設置事業

- ・目的 史跡等文化財の保護と活用、向日市の竹林の保全と活用及び地域振興、観光振興に寄与する。
- ・内容 寺戸大塚古墳竹林小屋は、学校法人京都建築学園京都建築専門学校からのご寄付によるもので、これは、以前から同地に所在した竹林小屋が平成30年から令和元年度にかけての台風により倒壊し、市民の中からこれを惜しむ声があがり、同校に寄せられた

	<p>ため、授業の一環として同校の生徒の皆さんに建築いただいた。 令和5年10月16日に史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳竹林小屋 竣工式を実施した。</p>
担当課	文教課

施策の成果と課題	
<p><b>【成果】</b></p> <p>古墳や都城跡が存在する本市特有の歴史・文化遺産を活用して、展示や講座・講演会、見学会などの事業を実施した。</p> <p>特に令和5年度は、建築専門学校のご協力を得て史跡乙訓古墳群寺戸大塚古墳エリアに竹林小屋を再建築し、史跡も含めた景観の保全と来訪者のための憩いの空間を整備した。</p> <p>こうした事業を実施した結果、市民の文化財保護に対する理解の促進、地域愛の醸成につながり、文化財を核とした地域振興、観光振興に寄与することができた。</p>	
<p><b>【課題】</b></p> <p>○本市に所在する特色ある歴史・文化遺産は史跡乙訓古墳群をはじめ、史跡長岡宮跡や重要文化財を有する向日神社、南真経寺が主体となる。地域の歴史を物語る財産、後世に残したい宝として市民の共通認識を育めるような保護施策や、価値を高め広く認知されるような多様な活用施策、また、こうした施策について積極的な情報発信を引き続き行っていく必要がある。</p> <p>○これまで史跡長岡宮跡や史跡乙訓古墳群など市域の中南部や丘陵部の文化財活用が中心であったが、市域の北部に所在する「物集女城跡」を保存し、市域全体の歴史文化遺産の活用に取り組む必要がある。</p> <p>○まちづくりに文化財を活かし、より一層地域が一体となって歴史・文化資源の継承に取り組んでいくため、文化財の計画的な保存と活用の促進を図っていく必要がある。そのためには、京都府が策定した「京都府文化財保存活用大綱」を参考に、地域住民の意見を反映した「向日市文化財保存活用地域計画」や「史跡乙訓古墳群保存活用計画」を策定することが有効である。</p>	

### 外部評価委員評価及び意見等

○文化財の発掘調査事業を行う一方で、史跡等の案内員の配置・考古学講座の開催・文化財でのギャラリー展示などを実施している。歴史・文化的資源を、一般の方々に触れる機会を多く設けていることは評価できる。

○旧上田家住宅において、来訪者数・一日平均が増加していることは着実にその成果が上がっていると考えられる。その他の様々な事業についても、前年度より利用者数が増加しており、上手に情報発信が行われていると思われる。

#### IV 外部評価委員の総評

新型コロナウイルス感染症が5類へと移行し、これまで制限されていた様々な取組が少しずつコロナ禍前の状況へと戻りつつある中で、様々な資源を活用し、限られた予算で効果的な事業が展開されている。

生涯学習分野については、一昨年に引き続き生涯学習関連課で横の繋がりを意識した情報発信や事業などの取組が行われ、学校教育では、ふるさと学習を取り入れて向日市の文化財について学び、校外で地域の方々に魅力発信を行うなど、児童と住民との交流などが実施されている。

そして、生涯学習分野と学校教育分野が別々の柱として個々に存在するのではなく両分野が連携して様々な事業が展開されており、それがすばらしい成果となっている。

令和5年度から学校と地域が今まで以上に組織的かつ継続的に連携・協働できる体制として導入されたコミュニティスクールについても、両分野の架け橋となるよう今後の事業展開に期待する。

引き続き、教育委員会全体で「第2次ふるさと向日市創生計画」に基づき、魅力ある向日市の教育の推進に尽力されたい。